

# 美咲町生涯スポーツ推進計画

(令和4年度～令和7年度)

美咲町教育委員会

## はじめに

このたび、美咲町教育委員会では「美咲町生涯学習推進計画」の推進方針の一つである「健康づくりと生涯スポーツの推進」に基づき、本町では初めてとなる「美咲町生涯スポーツ推進計画」を策定しました。

この計画は、町の将来を見据えたスポーツに関する基本的な施策を、総合的かつ計画的に進めるため、中長期的な視点に立ってスポーツを推進し自然豊かな環境の下、町民・団体が自主的、積極的に活動し交流を深め、運動・スポーツに関して様々なかたちで参加できるまちを目指して、「町民だれもが、それぞれの体力や年齢、技能、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフの実現」を基本理念として策定しています。

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や、楽しさ、喜びをもたらすとともに、スポーツを楽しみながら適切に継続することは、生活習慣病の予防・改善などを通じた健康寿命を伸ばし、医療費の抑制につながるなど、スポーツが果たす役割や重要性が増しています。

本計画においても、対象とする取組の範囲は、競技スポーツに限らず健康分野にも視点をおき日常的運動まで含む、生涯スポーツ活動全般となっています。

皆様ご承知のとおり、一昨年来、全世界的に「新型コロナウイルス」が猛威を振るい、感染状況は依然として収まる気配が見えません。例年開催をしていた多くのイベントが延期または中止に追い込まれ、運動施設等も使用停止や制限が課されました。今後、with コロナの社会生活が想定されるなか、段階的に正常化への道筋を描きながら、アフターコロナを見据えたスポーツ推進を展開していく必要があります。

町民の皆様におかれましては、今後とも忌憚なくご意見を賜り、本計画の実施、推進につきまして、一層のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

終わりにあたり、本計画の策定にお力添えいただいたすべての皆様、とりわけ、岡山大学大学院教育学研究科の高岡敦史准教授を委員長として発足した美咲町生涯スポーツ推進計画策定委員会の委員の皆様、アンケートにご協力いただきました町民の皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和4年（2022年）3月  
美咲町教育委員会 教育長 黒瀬堅志

# 目 次

第1章 計画の策定にあたって	
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置付け	2
3 計画期間	3
4 計画におけるスポーツの定義	3
第2章 運動・スポーツに関する現状と課題	
1 美咲町の現状	5
2 美咲町の運動・スポーツにおける現状と課題	9
第3章 スポーツ推進の施策	
1 計画の基本的な考え方	
（1）基本理念	42
（2）本計画が目指す将来像	43
（3）数値目標	43
（4）基本目標	44
（5）計画の体系	45
基本目標1 生涯スポーツ活動の機会の充実	
基本施策（1）運動・スポーツを始める機会提供	46
基本施策（2）日常的に運動・スポーツをする機会提供	48
基本施策（3）競技スポーツへの参加機会提供	50
基本目標2 生涯スポーツ活動のための環境づくりの推進	
基本施策（1）スポーツ・健康づくりに親しむ基盤となる環境整備	52
基本施策（2）地域の特性を活かした運動・スポーツの普及	54
基本施策（3）的確な運動・スポーツ情報の提供	56
基本目標3 生涯スポーツ活動の推進体制の再構築	
基本施策（1）連携・協働によるスポーツ活動の推進	58
基本施策（2）運動・スポーツに関わる人材育成と団体等への支援	60
第4章 計画の推進にあたって	
1 計画の推進と進行管理	62
2 各主体の役割	64
資料編	
1 美咲町生涯スポーツ推進計画策定委員名簿	66
2 美咲町生涯スポーツ推進計画策定経過	67
3 美咲町生涯スポーツ推進計画策定委員会設置要綱	68

# 第1章

—計画策定の経緯—

# 1 計画策定の趣旨

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や、楽しさ、喜びをもたらすとともに、健康の保持増進、体力の向上、活力ある健全な社会の形成など様々な役割が期待されています。

また、スポーツを楽しみながら適切に継続することは、生活習慣病の予防・改善などを通じた健康寿命を伸ばし、医療費の抑制につながるなど、スポーツが果たす役割や重要性が増しています。

平成23年8月に施行されたスポーツ基本法においては、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与することを目的に、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利」と明記し、国、地方公共団体、学校、スポーツ団体等その他の関係者は、基本理念の実現を図るため、相互に連携を図りながら協働するよう努めることが規定されました。

一方で、平成29年3月に策定された「第2期スポーツ基本計画」で掲げた数値目標の進捗も、成人・障がい者等のスポーツ実施率の伸び悩みや、子どもの体力の低下傾向などの課題があります。

また、少子化が進展する中、運動部活動について従前と同様の運営体制では維持が難しくなっており、学校における働き方改革の視点を踏まえて、運動部活動改革に取り組むとともに、地域における青少年のスポーツ環境の整備を進めていくことが急務の課題となっています。

今後とも、スポーツがその役割を果たし、社会の発展に寄与していく上で、社会経済活動や人々の生活に多大な影響を及ぼしている感染症の拡大予防への対応はもとより、デジタル化の進展、少子高齢化・人口減少、地域間格差、持続可能な開発、男女共同参画・共生社会の実現等、国内外の様々な社会的な課題や潮流を捉えつつ、取組の方向性を明らかにしていくことが求められています。

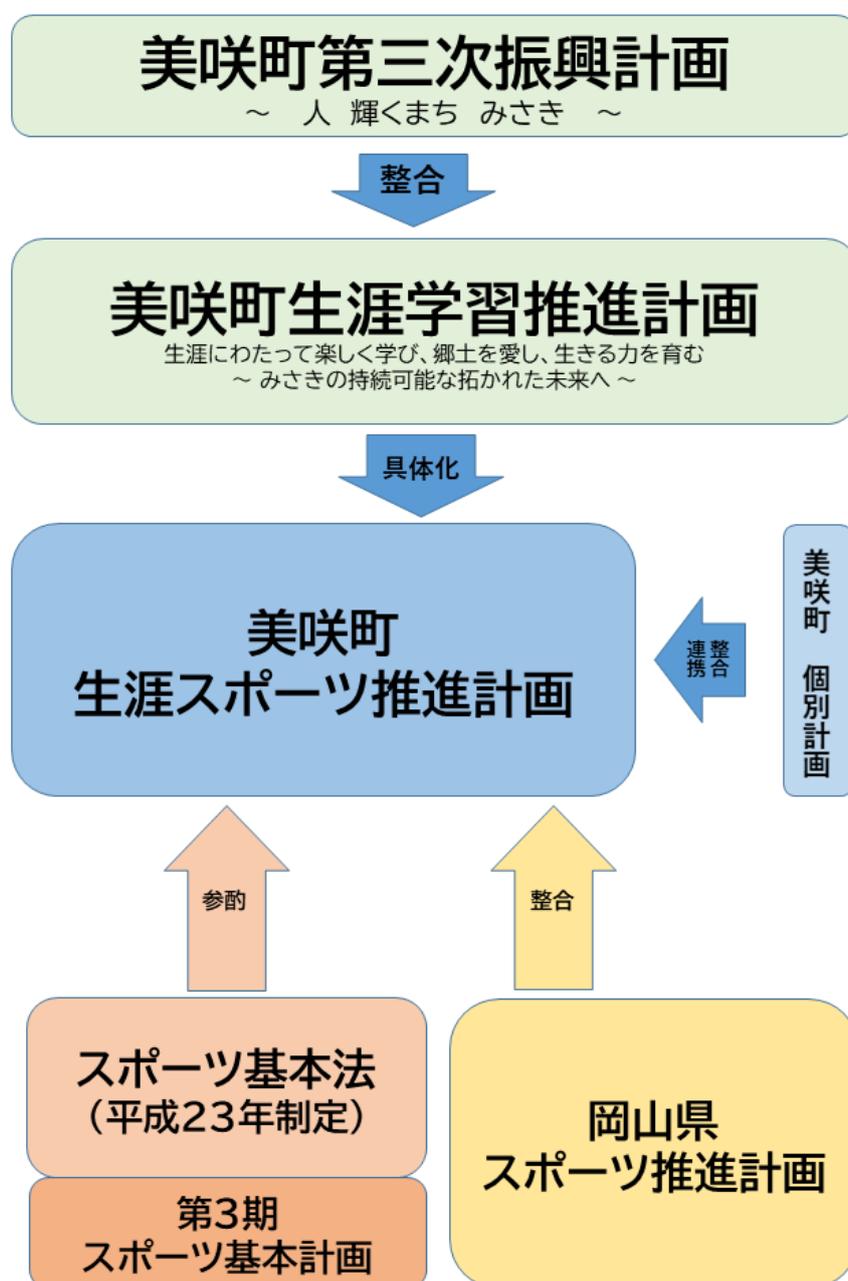
本町では、「美咲町第三次振興計画」のまちづくりの理念に基づき、令和3年3月に「美咲町生涯学習推進計画」を策定し、生涯学習事業の方向性を示しました。その推進方針4「健康づくりと生涯スポーツの推進」に基づき、本町の将来を見据えたスポーツに関する基本的な施策を、総合的かつ計画的に進める必要があります。

そこで、スポーツ基本法第10条の規定に基づき、国の「第3期スポーツ基本計画」を参酌するとともに、県の「スポーツ立県おかやま」の実現を参考に、現在のスポーツを取り巻く状況や課題を整理したうえで、中長期的な視点に立ってスポーツを推進させるため、「美咲町生涯スポーツ推進計画」を策定することとしました。

## 2 計画の位置付け

本計画は、国の「スポーツ基本計画（第3期スポーツ基本計画）」を参酌するとともに、「岡山県スポーツ推進計画」との整合を図り、本町の実情に照らし合わせて策定を行います。

なお、本町の上位計画である「美咲町第三次振興計画」、「美咲町生涯学習推進計画」をはじめ、「第1次美咲町地域福祉計画」等の福祉分野の個別計画との整合・連携を図ります。



### 3 計画期間

本計画の計画期間は、令和4（2022）年度から令和7（2025）年度までの4年間とします。

西暦(年度)	2020	2021	2022	2023	2024	2025
和暦(年度)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
美咲町第三次振興計画	5年間(第三次)					
第1次美咲町地域福祉計画		4年間				
第三次美咲町教育振興基本計画		5年間(第三次)				
美咲町生涯学習推進計画		5年間				
美咲町生涯スポーツ推進計画			4年間			

### 4 計画におけるスポーツの定義

スポーツの語源とされているラテン語の「deportare」には、本来の「運び去る」という意味から転じて「労働や日常生活から離れた気晴らし、楽しみ」という要素があります。スポーツ基本法では、「スポーツ」を「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵(かん)養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と定めています。また、最近では、「eスポーツ」\*2 や「アーバンスポーツ」\*3 など、遊戯性を含むものを幅広くスポーツと捉える考え方も登場しており、遊びとしての価値が再認識されています。

本計画では、スポーツ本来の遊びとしての価値と多面的な機能を鑑み、自己や他者と記録や勝敗を競う競技スポーツだけでなく、自由な遊びや、健康志向を目的としたウォーキングやジョギング、散歩などの軽い運動や、地域交流が図られるレクリエーション活動もスポーツを指すものとして考えます。

その上で、全ての町民がいつでも、どこでも、いつまでも安全にスポーツを楽しみ、スポーツを支え、スポーツを育てる活動に参加することができるよう、豊かな

スポーツライフの実現と気軽にスポーツに親しむことができる機会の創出などに取り組む必要があります。

本計画においては、上記の考え方に従い、スポーツの概念や定義を広く捉えて、普及していくため、「運動・スポーツ」と表記することとします。

\*2 eスポーツ：「エレクトロニック・スポーツ」の略で、パソコンやテレビゲームなどの電子機器を使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称

\*3 アーバンスポーツ：東京2020オリンピックにも採用されたBMX，スケートボード，スポーツクライミングをはじめ，パルクール，インラインスケートなどの，専用のスポーツ施設ではなく，広場やまちなかで実施されるスポーツ

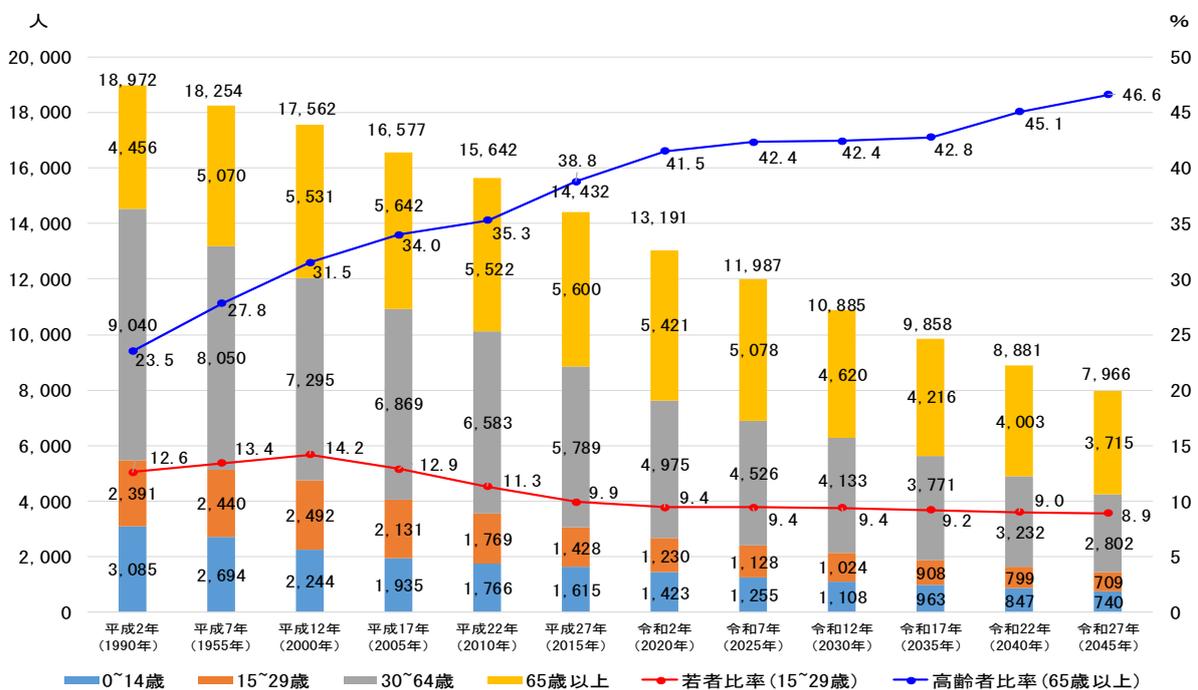
# 第2章

—運動・スポーツに関する現状と課題—

# 1 美咲町の現状

本町の人口は、令和2年12月現在、1万3千人を維持していますが、美咲町人口ビジョンの将来人口展望によると、令和42年には8千人になるとの予測が出ています。また、人口構成の推移をみると、14歳以下の年少人口は徐々に減少し、65歳以上の高齢化率はすでに40%を超えています。いわゆる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題を控え、子育て支援など子どもを安心して産み育てる環境づくりと、高齢者の学習支援や社会参加の重要性がますます高まっています。

## ■将来人口の推計



↑ 高齢化率：65歳以上の高齢者人口（老年人口）が総人口に占める割合のこと。

本町は、いま、本格的な人口減少社会の到来、少子高齢化の進行、地方分権の進展をはじめとする社会環境の大きな変化の中にあり、その急速な変容に適応しつつ、個性あるまちづくりを進めることが必要となっています。

また、少子高齢化の進行と人口減少に伴う世代構成の変化や価値観・生活スタイルの多様化、厳しい財政状況への対応等、社会ニーズの変化・多様化に伴い、公共施設を取り巻く環境は大きく変化しているなか、築30年を経過した建物が全体の約40%もあり、近い将来に大規模改修の時期を迎え、多額の更新費用が必要になると見込まれています。

そうした社会情勢の変化のなか、子どもから高齢者、障がい者まで、すべての住民が気軽にスポーツに関わりをもち、健康増進や生きがいにつなげ、スポーツを通

じた交流を活発にすることで、活力のある住み良いまちづくりを実現していくため、本町の将来を見据えたスポーツに関する基本的な施策を、総合的かつ計画的に進める必要があります。

そして、生涯にわたる心と体の健康づくりが一層重要となることから、スポーツ団体及び教育委員会・庁内（役場内）関係部署・社会福祉協議会等の団体間の連携に努め、高齢者や障がい者が気軽にスポーツ活動へ参加したり、若者などを含む多世代が交流・コミュニケーションを図ることができる場を設けたりするなど、世代を超えたスポーツ交流を推進し、町民の自主的なスポーツ活動を進めていくことが求められています。



中央かめっちグラウンドゴルフ場



中央運動公園 庭球場



エイコンパーク 野球場



中央児童公園 屋内ゲートボール場



中央運動公園 多目的広場



中央運動公園 総合体育館

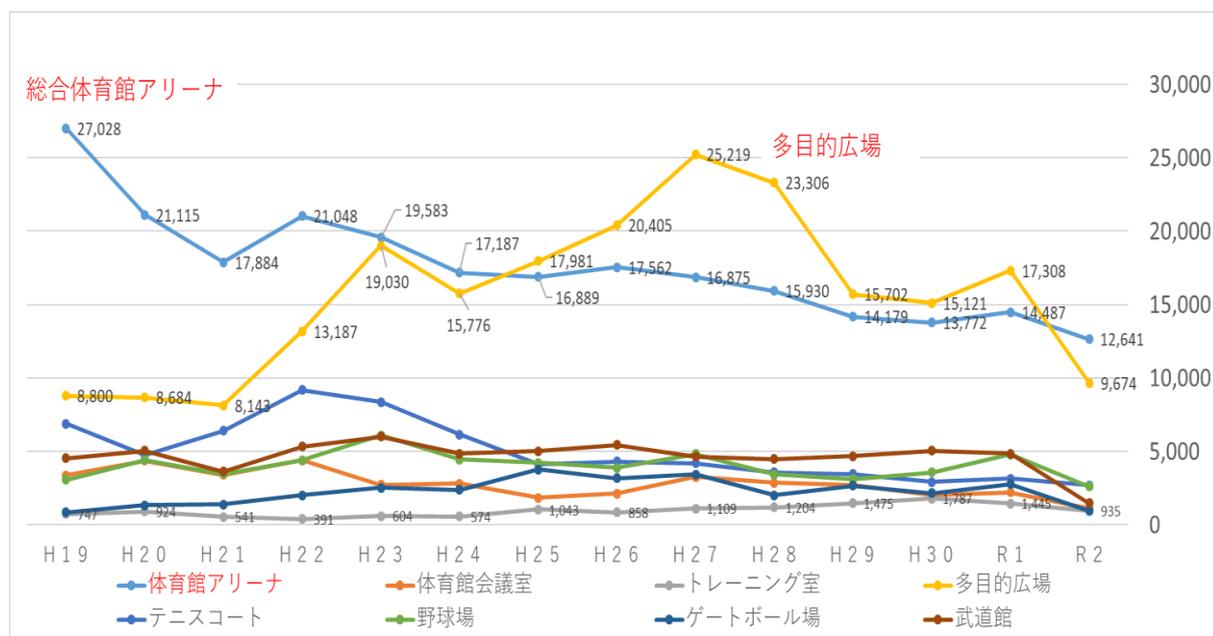
## <町内のスポーツができる施設>

### 生涯スポーツ関係施設一覧

番号	施設名	内容	地域
1	中央運動公園 野球場	野球 1面	中央
2	中央運動公園 庭球場	オムニコート 4面	中央
3	中央運動公園 多目的広場	ソフトボール 2面	中央
4	中央運動公園 総合体育館	バレーボール 3面	中央
5	中央運動公園 武道館	剣道場 1面 柔道場 1面	中央
6	中央児童公園 屋内ゲートボール場	ゲートボール 2面	中央
7	旧厚生小学校グラウンド	社会体育施設(グラウンドゴルフ 1ホール)	中央
8	中央かめっちグラウンドゴルフ場	グラウンドゴルフ 24ホール	中央
9	中央中学校体育館	社会体育に開放(条件有)(バレーボール2面)	中央
10	加美小学校体育館	社会体育に開放(条件有)(バレーボール1面)	中央
11	美咲中央小学校体育館	社会体育に開放(条件有)(バレーボール1面)	中央
12	旧打穴小学校体育館	社会体育専用(バレーコート 1面)	中央
13	中央中学校グラウンド	社会体育に開放(条件有)	中央
14	加美小学校グラウンド	社会体育に開放(条件有)	中央
15	美咲中央小学校グラウンド	社会体育に開放(条件有)	中央
16	打穴里ゲートボール場	ゲートボール2面(芝コート)	中央
17	中央公民館	社会教育施設	中央
18	緑化公園 太陽の広場	緑化公園施設	中央
19	緑化公園 芝生の広場	緑化公園施設	中央
20	旭グラウンド	野球 1面(小学校兼用)	旭
21	さくらグラウンド	野球 2面・ソフトボール 4面(小)	旭
22	旭中学校体育館	社会体育に開放(条件有)(バレーボール2面)	旭
23	旭小学校体育館	社会体育に開放(条件有)(バレーボール1面)	旭
24	旭中学校グラウンド	社会体育に開放(条件有)	旭
25	旭町民センター(公民館)	社会教育施設	旭
26	三休公園 民話館	宿泊、研修施設、卓球コーナー(3台)	旭
27	エイコンパーク 野球場	野球 1面	柵原
28	エイコンパーク グラウンドゴルフ場	グラウンドゴルフ 24ホール	柵原
29	エイコンパーク 多目的グラウンド	サッカーボール 1面	柵原
30	柵原総合グラウンド	野球 2面(中学校兼用)	柵原
31	丸山町民グラウンド	野球 1面	柵原
32	北和気芝グラウンド	フットサル 3面(芝グラウンド)	柵原
33	柵原テニス場	オムニコート 2面	柵原
34	柵原中学校体育館	社会体育に開放(条件有)(バレーボール2面)	柵原
35	柵原西小学校体育館	社会体育に開放(条件有)(バレーボール1面)	柵原
36	柵原東小学校体育館	社会体育に開放(条件有)(バレーボール1面)	柵原
37	北和気体育館	フットサル1面	柵原
38	大戸国民体育館	バレーボール1面	柵原
39	飯岡体育館	社会体育施設(バレーボール1面)	柵原
40	柵原西小学校グラウンド	社会体育に開放(条件有)	柵原
41	柵原東小学校グラウンド	社会体育に開放(条件有)	柵原
42	月の輪プラザ	ゲートボール4面・フットサル2面・ソフトボール場1面	柵原
43	南和気荘(農村型リゾート施設)	宿泊、研修施設、体育館(バレーボール1面)	柵原
44	柵原総合文化センター(公民館)	社会教育施設	柵原

## <公共スポーツ施設利用状況>

### 中央運動公園施設 利用者推移 (2007年度～2020年度)



※R1、R2については、新型コロナウイルス感染症対策により施設が使用禁止になり利用者が減少となった。

	総合体育館アリーナ	多目的広場	野球場	テニスコート	ゲートボール場	武道館	トレーニング室	体育館会議室	合計
R2	12,641	9,674	2,617	2,686	973	1,490	935	1,120	31,016
R1	14,487	17,308	4,802	3,149	2,790	4,858	1,445	2,212	48,839
H30	13,772	15,121	3,576	2,920	2,152	5,046	1,787	2,023	44,374
H29	14,179	15,702	3,129	3,455	2,659	4,687	1,475	2,717	45,286
H28	15,930	23,306	3,423	3,581	2,019	4,492	1,204	2,879	53,955
H27	16,875	25,219	4,809	4,209	3,425	4,661	1,109	3,267	60,307
H26	17,562	20,405	3,887	4,308	3,190	5,433	858	2,125	55,643
H25	16,889	17,981	4,226	4,121	3,788	5,007	1,043	1,835	53,055
H24	17,187	15,776	4,443	6,162	2,395	4,855	574	2,805	51,392
H23	19,583	19,030	6,102	8,360	2,519	6,022	604	2,738	62,220
H22	21,048	13,187	4,404	9,183	2,011	5,337	391	4,384	55,561
H21	17,884	8,143	3,470	6,401	1,395	3,621	541	3,400	41,455
H20	21,115	8,684	4,419	4,725	1,344	5,039	924	4,358	46,250
H19	27,028	8,800	3,060	6,892	861	4,542	747	3,381	51,930



総合体育館アリーナ



武道館

## 2 美咲町の運動・スポーツにおける現状と課題

美咲町の運動・スポーツにおける現状と課題を調査するため、「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和3年（2021年）12月）」を実施しました。

対象は、町内に住民票のある年齢15歳から89歳の男女1,000人とし、男女別、年代別（年代構成人口率により抽出数を調整）、地域別（旭、中央、柵原の3地域）のバランスが取れるように無作為抽出により実施しました。

アンケートの内容は、次のように分類しています。

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| ①アンケート回答者情報         | No.（1）～（8）   |
| ②運動・スポーツの実施状況について   | No.（9）～（24）  |
| ③美咲町のスポーツ施設について     | No.（25）～（28） |
| ④スポーツに関する情報入手方法について | No.（29）～（30） |
| ⑤美咲町のスポーツ施策について     | No.（31）～（33） |

### ① アンケート回答者情報

（1）あなたの性別をお答えください。

男女比 男性161人：女性205人

（2）あなたの年齢をお答えください。

平均年齢よりおよそ10歳から20歳高い方からの回答が多くみられた。

①全人口：13,493人（令和3年8月1日現在）

②平均年齢：53.4歳（令和3年8月1日現在）

③アンケート回答者数：366人

④アンケート回答率：36.6%

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
対象者数	53	70	94	138	129	178	197	141	1,000
回答者数	12	14	20	41	52	78	101	48	366
回答率	22.6%	20.0%	21.3%	29.7%	40.3%	43.8%	51.3%	34.0%	36.6%

(3) あなたの世帯構成をお答えください。

2世代同居&3世代同居世帯が55.3%を占めました。

地域	1人世帯	1世代(夫婦のみ)世帯	2世代(親または子の一方と)同居世帯	3世代(親と子の両方と)同居世帯	その他の世帯
旭地域	18.5%	19.8%	39.5%	17.3%	4.9%
中央地域	13.4%	23.6%	41.4%	16.6%	5.1%
柵原地域	16.5%	29.9%	34.6%	16.5%	2.4%

(4) あなたの居住地域をお答えください。

①旭地域 : 2,255人の3.6%

②中央地区 : 6,219人の2.5%

③柵原地区 : 5,019人の2.5%

(単位 : 人)

地域	性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
旭地域	男性	0	0	1	5	3	14	10	5
	女性	1	2	4	3	4	6	16	8
中央地域	男性	3	4	4	11	9	13	20	5
	女性	3	6	6	9	14	24	15	11
柵原地域	男性	2	1	3	7	8	10	17	6
	女性	3	1	2	6	14	11	23	13

(5) あなたの世帯年収はいくらですか。

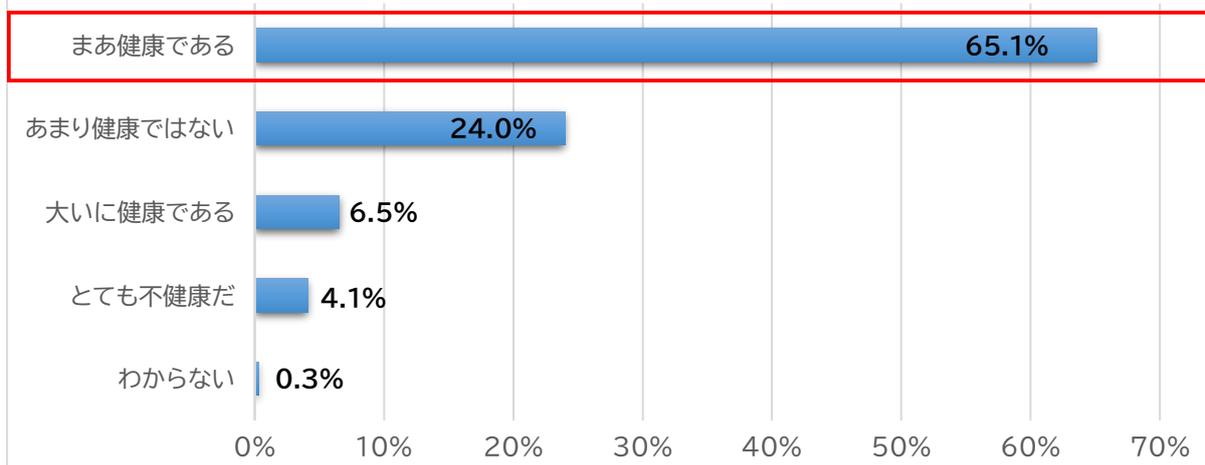
地域	200万円未満	200万円~300万円未満	300万円~400万円未満	400万円~500万円未満	500万円~600万円未満	600万円~700万円未満	700万円~800万円未満	800万円~900万円未満	900万円~1000万円未満	1000万円以上	わからない
旭地域	31.6%	16.5%	11.4%	7.6%	3.8%	2.5%	6.3%	3.8%	1.3%	0.0%	15.2%
中央地域	25.8%	15.5%	16.1%	6.5%	9.7%	5.2%	5.8%	1.3%	1.9%	4.5%	7.7%
柵原地域	25.2%	20.5%	15.0%	7.1%	7.1%	4.7%	3.9%	0.8%	3.9%	3.9%	7.9%

(6) ご自身の健康について、どう思いますか。

**【現状】**

○65.1%(男性:61.7%, 女性:67.8%)の人が健康だと認識している。

**■ご自身の健康について**



(7) ご自身の体力について、どう思いますか。

**【現状】**

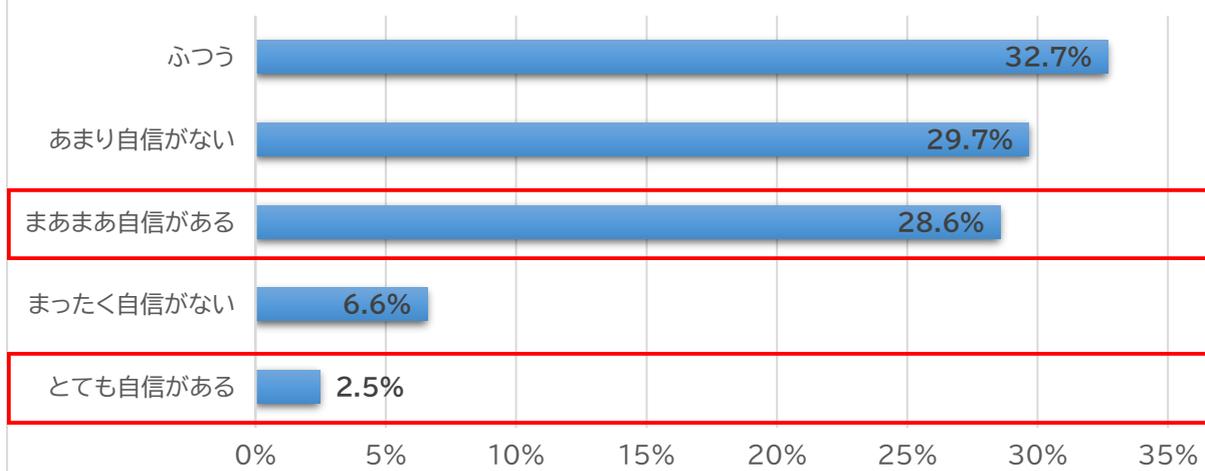
○31.1%(男性:29.6%, 女性:32.2%)の人が体力に自信がある(まあまあ自信がある、とても自信がある)と認識している。

**【課題】**

○日常から運動する習慣を作ることが重要です。

○運動・スポーツだけでなく、健康や体力づくりの観点から身体を動かすきっかけづくりを推進していく必要があります。

**■ご自身の体力について**



(8) 日頃、運動不足を感じますか。

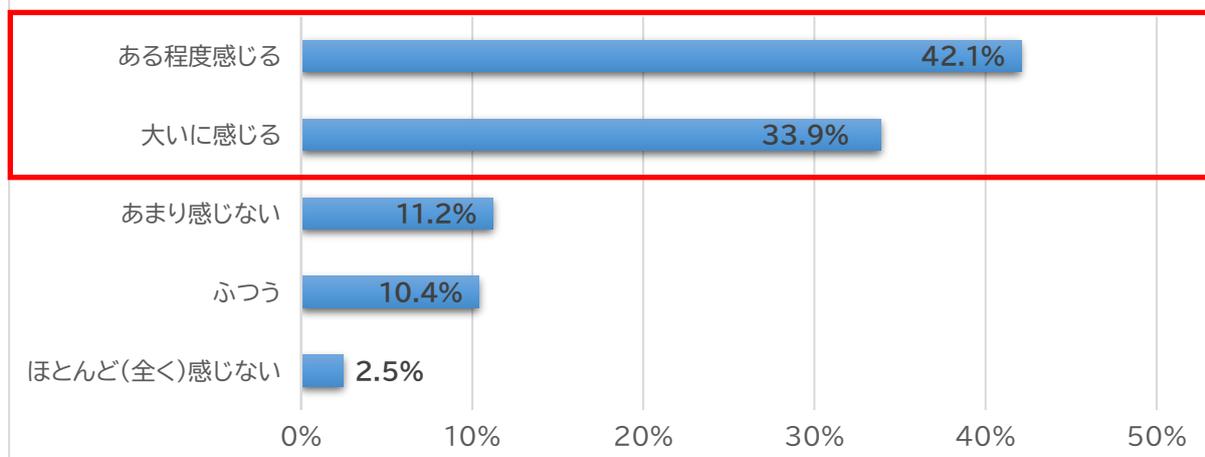
【現状】

○76.0%(男性:67.7%, 女性:82.5%)の人が運動不足を感じている。

【課題】

○運動・スポーツ実施率が低い子育て世代や働き盛り世代へのさらなる運動・スポーツの啓発、きっかけづくりが重要です。

■日頃、運動不足を感じますか。



## ②運動・スポーツの実施状況について

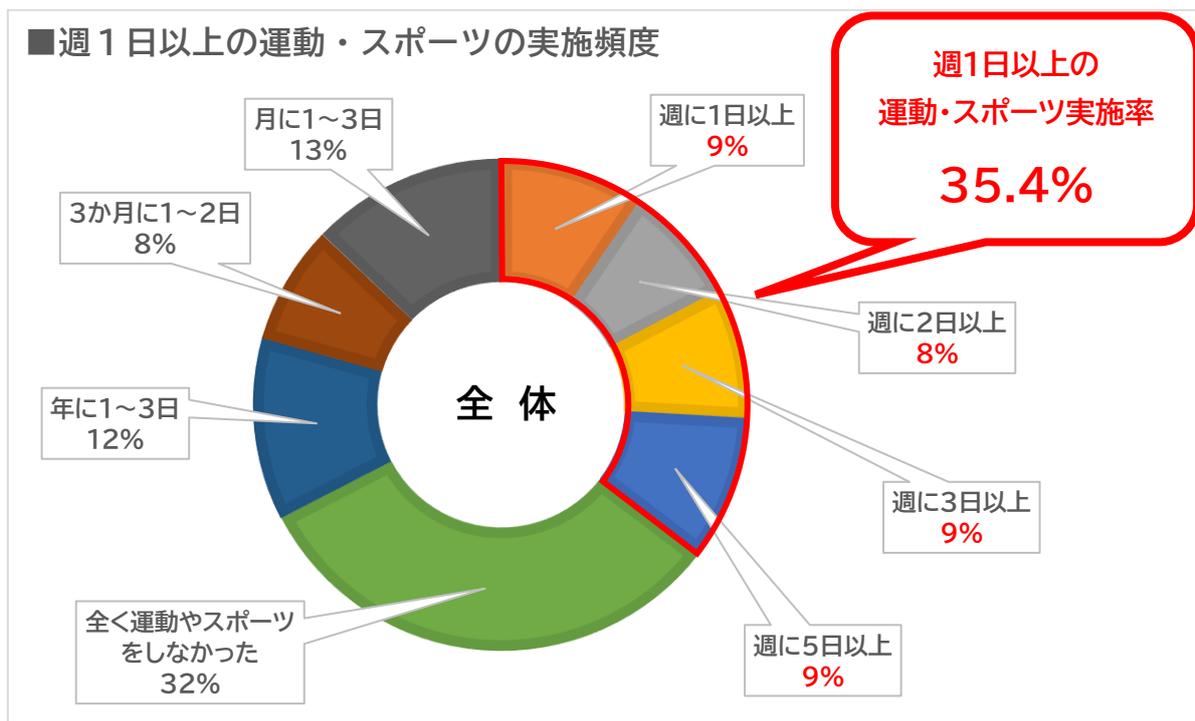
(9) この1年間、どれくらい運動・スポーツを実施していますか。

### 【現状】

○週1日以上の運動・スポーツの実施頻度では、32.0%の人が1年間、全く運動・スポーツをしていないと回答しています。性別で見ると、男性では32.7%、女性では31.5%です。一方、週に一回以上、運動・スポーツをしていると回答した人が、運動を全くしていない人の割合とほぼ同じ割合で、35.4%(男性:36.5%, 女性:34.5%)となっています。男女とも年齢が高くなるほど運動・スポーツの実施頻度が低く、特に50代で低くなっています。また、運動・スポーツをする人と、しない人との二極化の傾向が伺えます。

### 【課題】

○運動・スポーツ実施率が低い年代へのさらなる啓発、きっかけづくりが重要です。



全体	全く運動やスポーツをしなかった	年に1~3日	3か月に1~2日	月に1~3日	週に1日以上	週に2日以上	週に3日以上	週に5日以上
	32.0%	12.0%	7.8%	12.8%	9.5%	7.8%	8.6%	9.5%

性別	全く運動やスポーツをしなかった	年に1~3日	3か月に1~2日	月に1~3日	週に1日以上	週に2日以上	週に3日以上	週に5日以上
男性	32.7%	10.7%	6.9%	13.2%	6.9%	6.9%	9.4%	13.2%
女性	31.5%	13.0%	8.5%	12.5%	11.5%	8.5%	8.0%	6.5%

年代	全く運動やスポーツをしなかった	年に1~3日	3か月に1~2日	月に1~3日	週に1日以上	週に2日以上	週に3日以上	週に5日以上
10代	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	8.3%	41.7%
20代	14.3%	7.1%	14.3%	35.7%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%
30代	19.0%	19.0%	14.3%	0.0%	9.5%	28.6%	9.5%	0.0%
40代	26.8%	14.6%	14.6%	17.1%	12.2%	7.3%	2.4%	4.9%
50代	44.2%	9.6%	9.6%	11.5%	9.6%	3.8%	0.0%	11.5%
60代	35.1%	14.3%	3.9%	16.9%	6.5%	5.2%	10.4%	7.8%
70代	31.6%	12.6%	5.3%	9.5%	12.6%	4.2%	12.6%	11.6%
80代以上	38.3%	8.5%	8.5%	12.8%	2.1%	10.6%	14.9%	4.3%

(10) この1年間であまり運動やスポーツをしなかった理由は何ですか。

【複数回答】

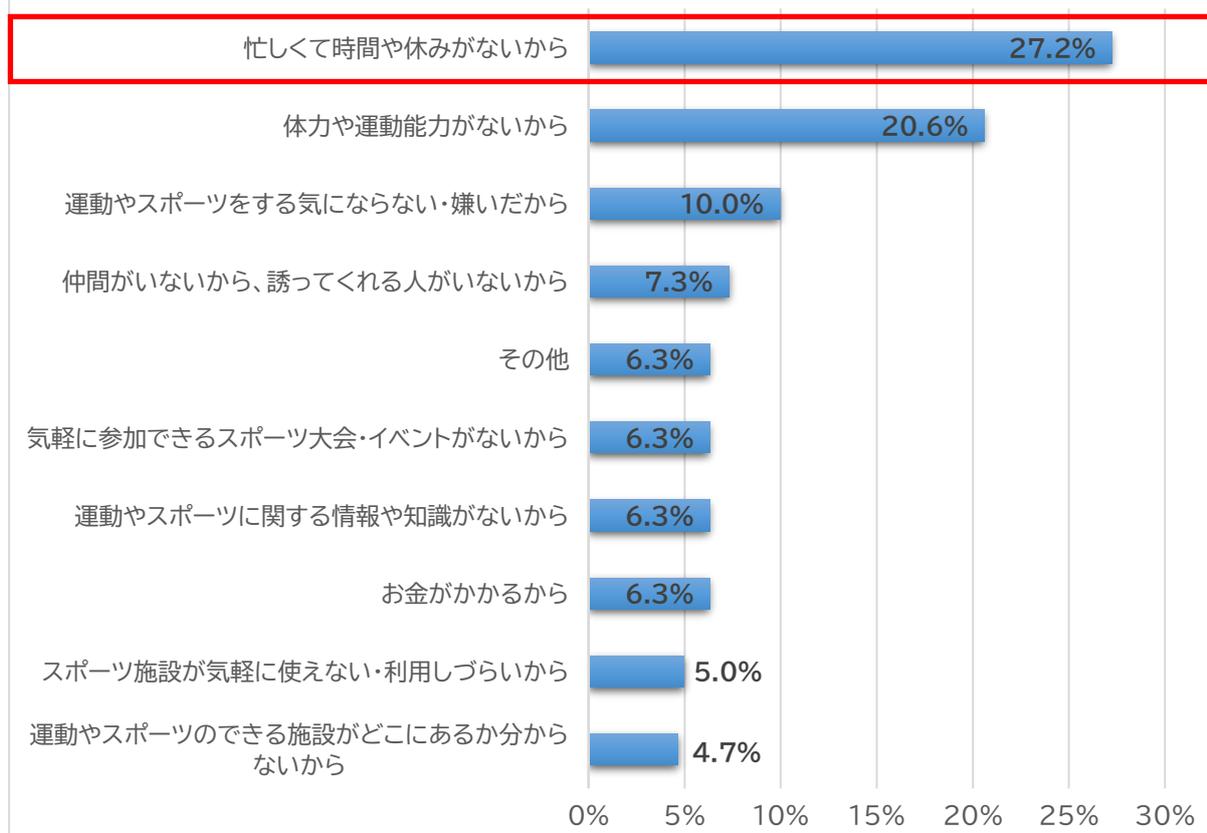
【現状】

○運動やスポーツをしなかった理由では、「忙しくて時間や休みがないから」と回答した割合 27.2%と最も高く、続いて、「体力や運動能力がないから」が 20.6%、「運動やスポーツをする気にならない・嫌いだから」が 10.0%で回答した割合も高くなっています。年齢が高くなるほど「体力や運動能力がないから」との回答が多く、年齢が低くなるほど「忙しくて時間や休みがないから」と回答が多くなっています。

【課題】

○運動施設が気軽に利用できるよう、利用条件等の見直しも行いながら、運動・スポーツのさらなるきっかけづくりの推進とともに、分かりやすく情報を発信していくことが重要です。

運動やスポーツをしなかった理由



(11) あなたはどうすればもっと運動やスポーツをするようになると思いますか。

【複数回答】

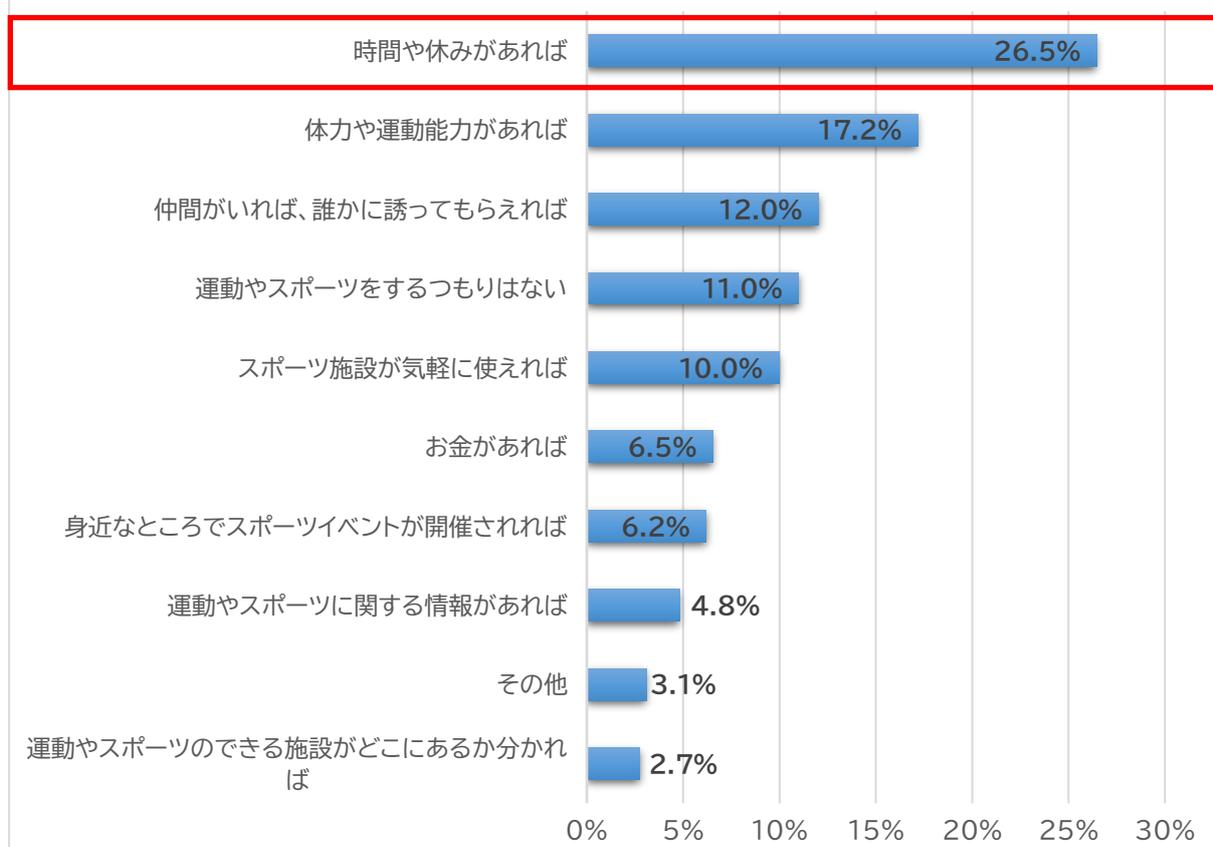
【現状】

○運動・スポーツ活動を行うための動機では、「時間や休みがあれば」と回答した割合が26.5%と最も高く、続いて、「体力や運動能力があれば」が17.2%、「仲間がいれば、誰かに誘ってもらえれば」が12.0%で回答した割合も高くなっています。年齢が高くなるほど「体力や運動能力があれば」との回答が多く、年齢が低くなるほど「時間や休みがあれば」と回答が多くなっています。また、「仲間がいれば、誰かに誘ってもらえれば」との回答もあり情報、機会、仲間、施設(経営的条件)も運動・スポーツ実施の重要な条件であることが伺えます。

【課題】

○運動施設が気軽に利用できるよう、利用条件等の見直しも行いながら、運動・スポーツのさらなるきっかけづくりの推進とともに、分かりやすく情報を発信していくことが重要です。

■運動・スポーツ活動を行うための動機



(12) この1年間で運動やスポーツをした理由は何ですか。

【複数回答】

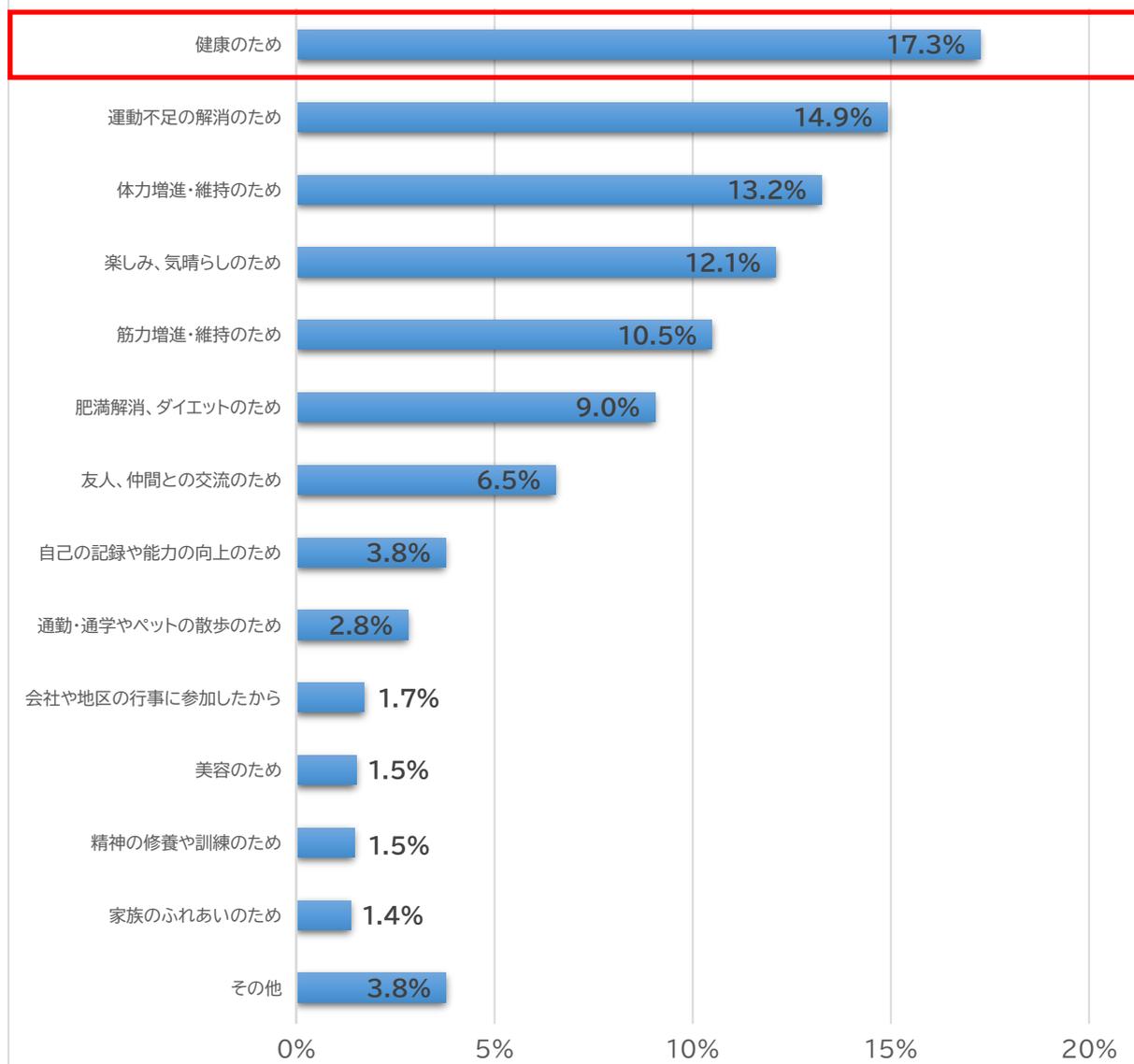
【現状】

○この1年間で運動やスポーツをした理由では、日ごろ運動・スポーツをした理由では、「健康のため」と回答した割合が17.3%と最も高く、次いで、「運動不足の解消のため」が14.9%、「体力増進・維持のため」が13.2%、「楽しみ、気晴らしのため」が12.1%となっています。

【課題】

○町内の運動・スポーツを支える人材として、様々なニーズに応じた適切な指導を行う人材を育成するとともに、スポーツ関係団体等が地域に根差したスポーツ活動を継続して実施できるよう支援をしていく必要があります。

■運動やスポーツをした理由



(13) あなたが日ごろ運動やスポーツを行っている場所は主にどんなところですか。

【複数回答】

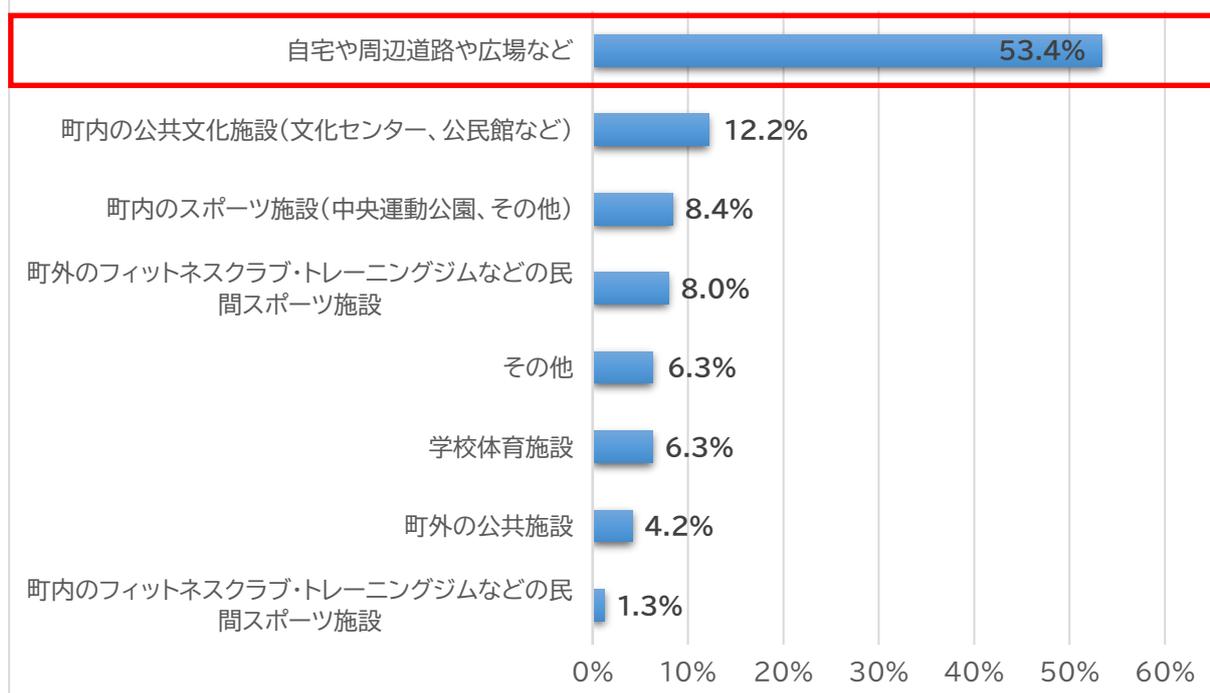
【現状】

○日ごろ運動やスポーツを行っている場所では、「自宅や周辺道路や広場など」が53.4%最も高く、次いで、「町内の公共文化施設(文化センター、公民館など)」が12.2%、「町内のスポーツ施設(中央運動公園、その他)」が8.4%となっています。スポーツ施設を利用しない活動が全体の60%を超えることがわかります。一方、性別によって活動場所が異なる傾向があることも分かります。

【課題】

○運動施設が気軽に利用できるよう、利用条件等の見直しも行いながら、運動・スポーツのさらなるきっかけづくりの推進とともに、分かりやすく情報を発信していくことが重要です。

■日ごろ運動やスポーツを行っている場所



(14) この1年間で1回あたり30分以上行った運動・スポーツは何ですか。

※1回30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

【複数回答】

【現状】

○1年間に1日30分以上行った運動・スポーツの種類では、複数回答の上位10種目の全体で「ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・ノルディックウォーキング含む)」が多く、男性では47.5%、女性では65.7%の方がウォーキングと回答しています。続いて男性では、「トレーニング、ゴルフ(コースでのラウンドや練習場)、女性では「体操(軽い体操、ラジオ体操、健康体操、体操競技含む)、トレーニング」と回答した割合が高くなっています。身近な場所で時間に関係なく行える「ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・ノルディックウォーキング含む)」が全体でも50%を超えています。また、男性に特徴的な種目(女性の2倍以上)は、ランニング、自転車、ゴルフ、釣り、野球系、サッカー系、グランドゴルフで、女性に特徴的な種目(男性の2倍以上)は、バドミントン、エアロビ系などが多くみられます。

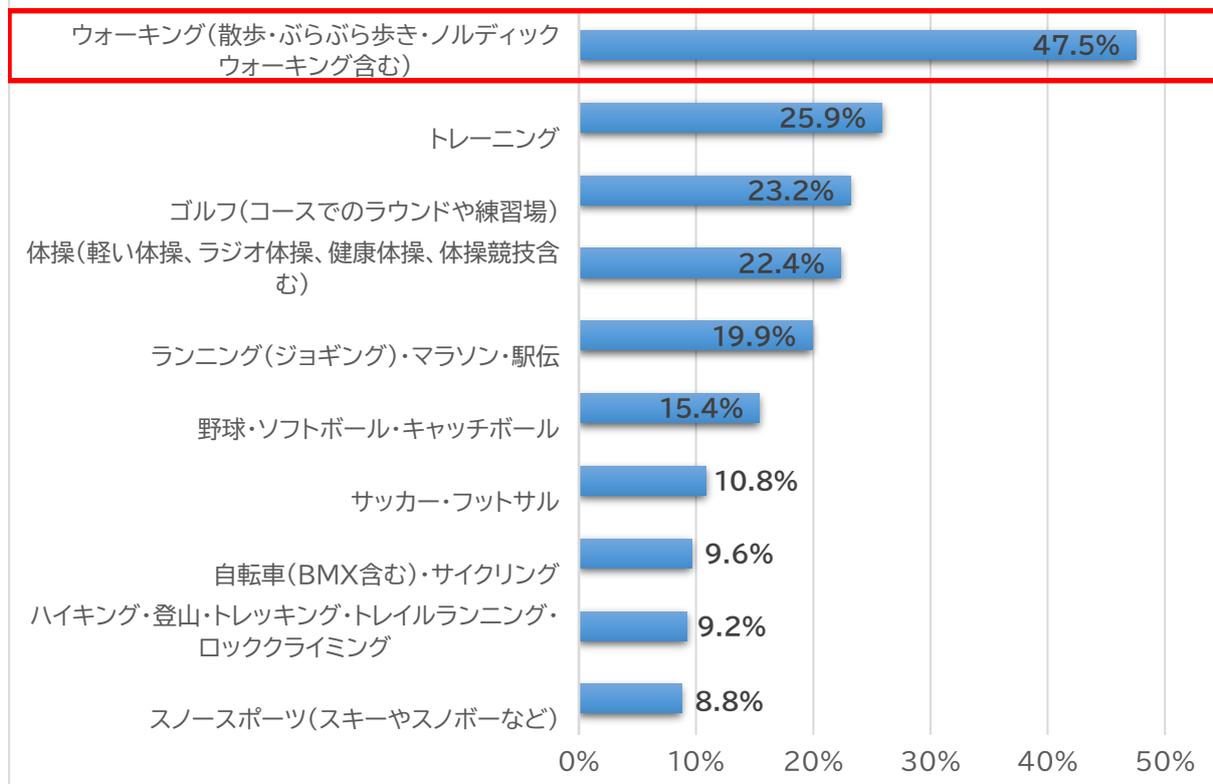
【課題】

○運動施設が気軽に利用できるよう、利用条件等の見直しも行いながら、運動・スポーツのさらなるきっかけづくりの推進とともに、分かりやすく情報を発信していくことが重要です。

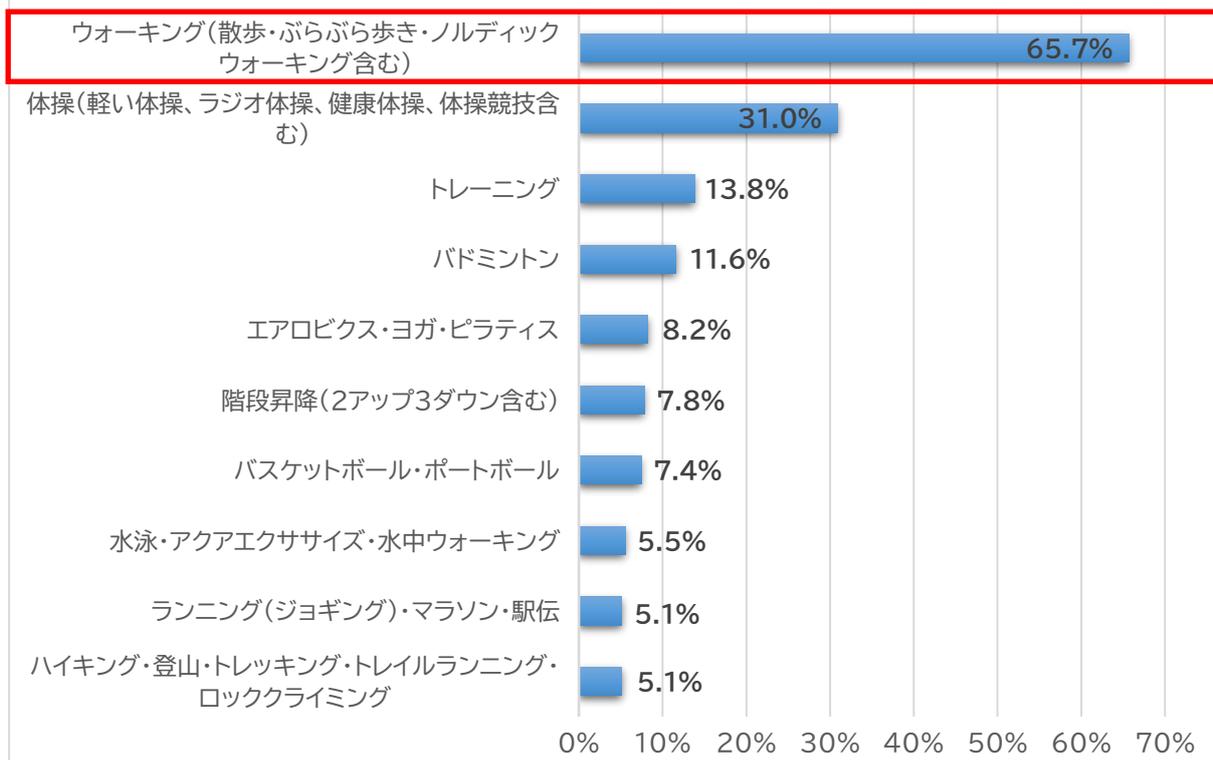


エイコンパーク

■1年間に1日30分以上行った運動・スポーツ  
(男性×年代別) 上位10種目



■1年間に1日30分以上行った運動・スポーツ  
(女性×年代別) 上位10種目



(15) 運動やスポーツをしてどんな効果がありましたか。

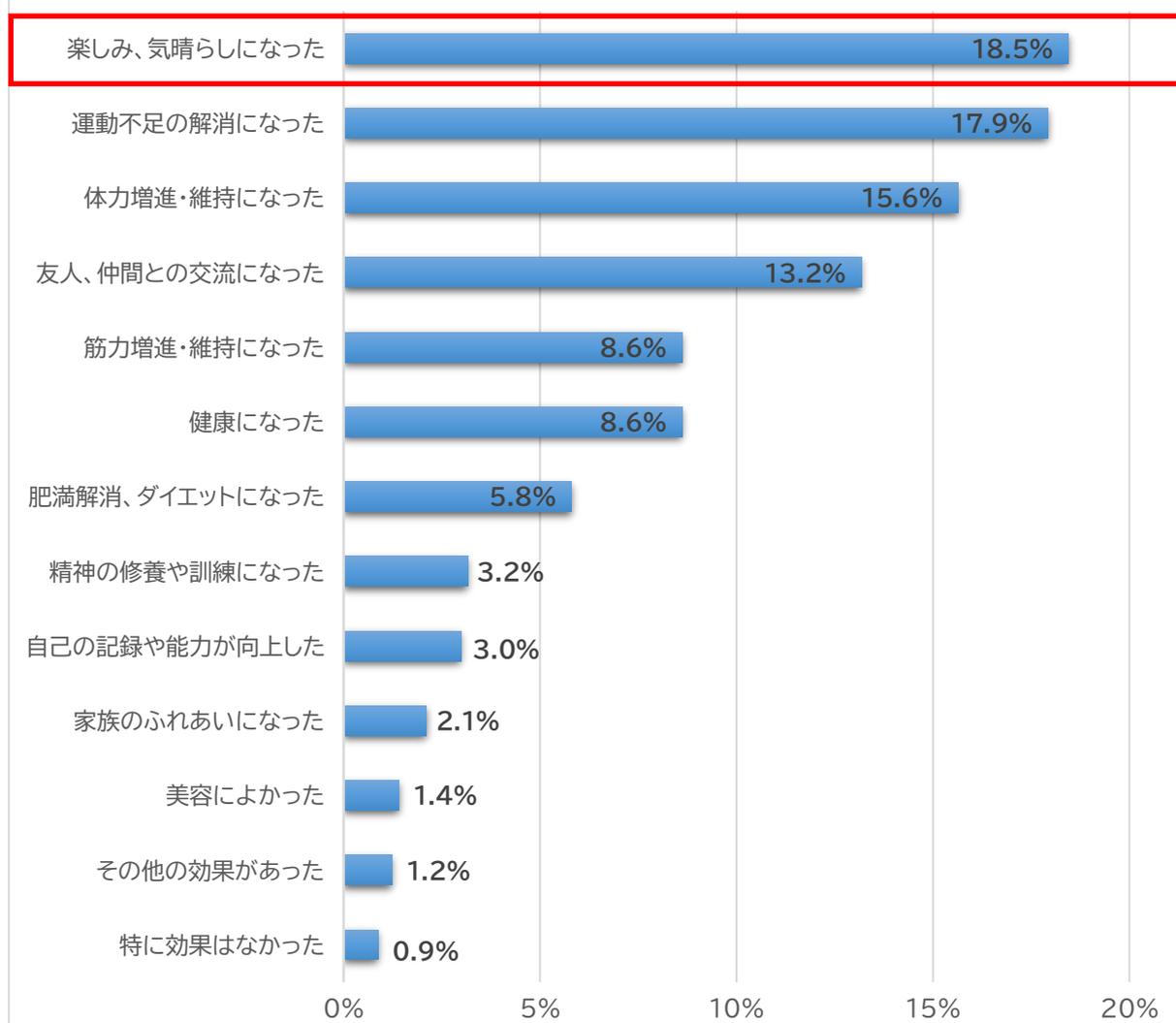
**【現状】**

○運動やスポーツをしての効果では、「楽しみ、気晴らしになった」が 18.5%で最も高く、次いで、「運動不足の解消になった」が 17.9%、「体力増進・維持になった」が 15.6%となっています。「楽しみ、気晴らしになった」「運動不足の解消になった」「体力増進・維持になった」「友人、仲間との交流になった」と回答した方が、全体の約6割で、多様な効果が認識されている傾向がみられます。

**【課題】**

○運動施設が気軽に利用できるよう、利用条件等の見直しも行いながら、運動・スポーツのさらなるきっかけづくりの推進とともに、分かりやすく情報を発信していくことが重要です。

■運動やスポーツをしてどんな効果があったか



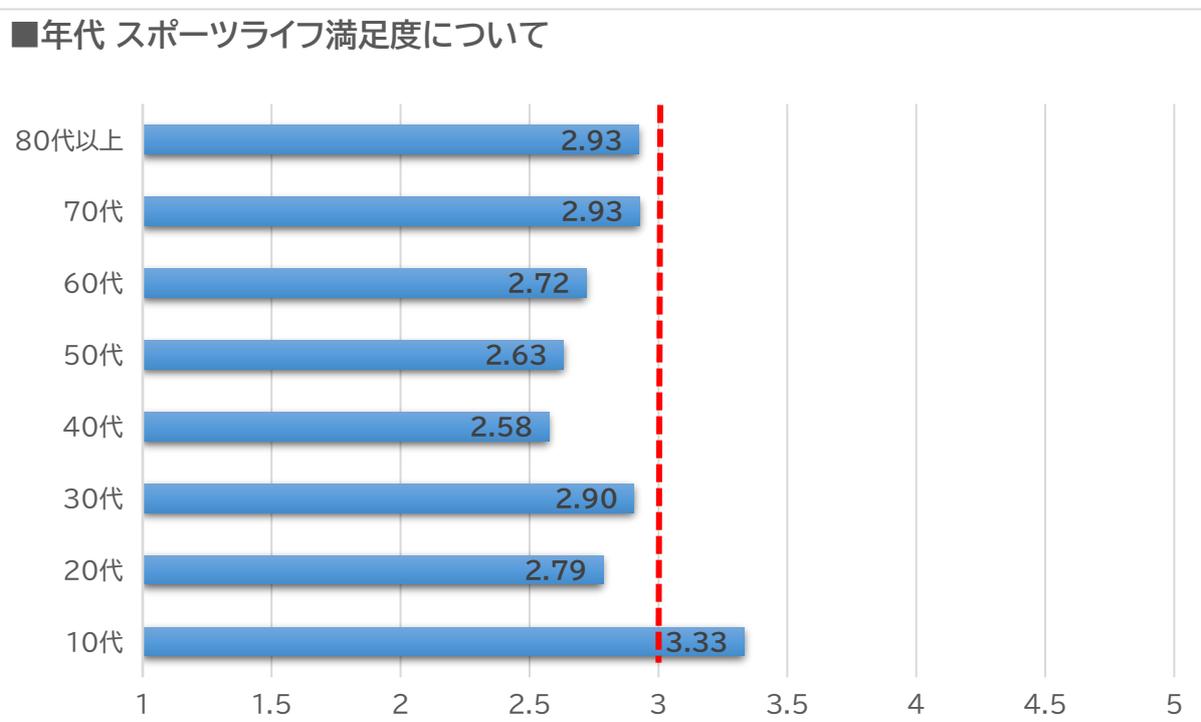
(16) あなたはご自身の運動・スポーツライフにどれくらい満足していますか。

**【現状】**

○運動・スポーツ活動の満足度では、現状の運動・スポーツ活動に満足している割合は、10代を除いて3.0を超えていないため、全体的に満足度は低い傾向がみられます。一方、不満があると回答した割合は全体の27.9%となっています。また、性別及び年代別で見ると、男性より女性の方が高い傾向にあり、特に女性の50代が高くなっています。

**【課題】**

○運動施設が気軽に利用できるよう、利用条件等の見直しも行いながら、運動・スポーツのさらなるきっかけづくりの推進とともに、分かりやすく情報を発信していくことが重要です。



年代	平均値	度数	標準偏差
10代	3.33	12	1.303
20代	2.79	14	0.699
30代	2.90	21	0.768
40代	2.58	40	0.903
50代	2.63	49	0.929
60代	2.72	75	0.669
70代	2.93	97	0.725
80代以上	2.93	40	0.859
合計	2.81	348	0.818

(17) あなたが今後行ってみたい運動・スポーツを、問14の項目を参考に3つまでお答えください。

**【現状】**

○今後行ってみたい種目運動・スポーツの種類では、複数回答の上位10種目のうち「ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・ノルディックウォーキング含む)」で3割と高く、続いて男性では、「ハイキング・登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング」「ゴルフ(コースでのラウンドや練習場)」、女性では「エアロビクス・ヨガ・ピラティス」「体操(軽い体操、ラジオ体操、健康体操、体操競技含む)」と回答した割合が高くなっています。

**【課題】**

○運動施設が気軽に利用できるよう、利用条件等の見直しも行いながら、運動・スポーツのさらなるきっかけづくりの推進とともに、分かりやすく情報を発信していくことが重要です。

性別	ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・ノルディックウォーキング含む)	ハイキング・登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング	ゴルフ(コースでのラウンドや練習場)	サッカー・フットサル	体操(軽い体操、ラジオ体操、健康体操、体操競技含む)	テニス・ソフトテニス	釣り	キャンプ・オートキャンプ	トレーニング	バドミントン
男性	31.9%	23.2%	17.6%	16.1%	13.2%	13.1%	11.5%	11.4%	11.1%	10.1%

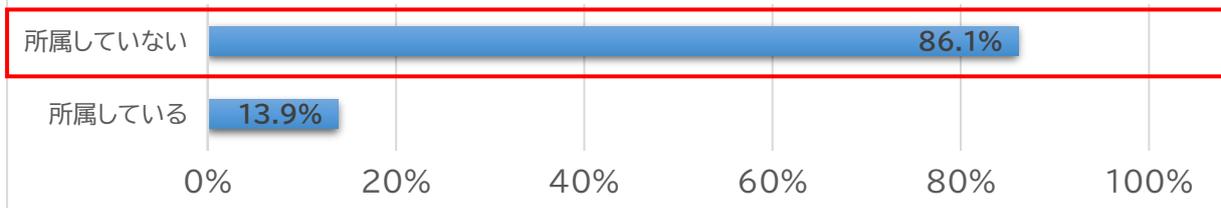
性別	ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・ノルディックウォーキング含む)	エアロビクス・ヨガ・ピラティス	体操(軽い体操、ラジオ体操、健康体操、体操競技含む)	ハイキング・登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング	水泳・アクアエクササイズ・水中ウォーキング	バドミントン	ボウリング	トレーニング	バスケットボール・ポルトボール	卓球(ラージボール含む)
女性	32.6%	23.6%	17.5%	14.9%	14.5%	13.8%	13.1%	11.7%	10.9%	9.0%

(18) あなたは現在、定期的なスポーツ教室、クラブやサークルなどに所属していますか。

**【現状】**

○定期的なスポーツ教室、クラブやサークルの所属では、全体で 86.1%の人が「所属していない」と答えています。

**■定期的なスポーツ教室、クラブやサークルなどの所属**



### 見てみて！うちのスポ少！

**明徳館 剣道スポーツ少年団**

鬼滅の刃の影響もあり、現在流行している剣道を一掃しませんか？防具の貸出しOKです。見学希望も大歓迎です。



対象	美咲町内の小学生～中学生5年生
練習場所	美咲町中央運動公園武道館
練習時間	毎週月・木・土曜日 午後7時～午後8時30分
会費	1,000円/月
問い合わせ	☎090(5377)8131

**加美スポーツ少年団 バレーボール部**

少ない人数ですが、わきあいあいと活動しています。運動が苦手な子でも大丈夫！ぜひ一緒にバレーボールを楽しみましょう。



対象	美咲町内の小学校1年生～6年生
練習場所	加美小学校体育館・中央総合体育館 ほか
練習時間	毎週水曜日 午後6時～午後8時 毎週日曜日 午前9時～午前11時
会費	3,000円/年
問い合わせ	小林 ☎090(1010)7324 ※経営者様の場合は、小学校・学年・氏名の照会をお願いします。

### スポーツ少年団員募集

**柵原スポーツ少年団 中学生サッカー男女部**

「サッカーを遊んで学ぶ」仲間と一緒に、楽しんでプレーしてませんか？サッカーを通じて、礼儀を学び、コミュニケーション能力を高め、心身の育成と選手相互の親睦を図っています。見てみたい！やってみてみたい！と少しでも思えば、一度来てみてください！お待ちしております！



対象	美咲町内の中学校1年生～3年生
練習場所	北和気芝グラウンド（雨天時は別会場）
練習時間	毎週金・日曜日 午後7時～午後9時
会費	8,000円/年
問い合わせ	柵原スポーツ少年団 代表 岡田晋一 ☎090(9503)5493

**柵原スポーツ少年団 小学生サッカー男女部**

ワイワイ楽しく練習しています。秋から冬にかけて試合がたくさんあるので楽しいですよ。男子・女子、経験問わず募集しています！



対象	美咲町内の小学校1年生～6年生
練習場所	北和気芝グラウンド（雨天時は別会場）
練習時間	毎週火・木曜日 午後7時～午後9時
会費	8,000円/年
問い合わせ	柵原スポーツ少年団 代表 福田 茂 ☎090(7130)4678

### 美咲町スポーツ少年団 団員募集

スポーツ少年団では、子供たちがスポーツを楽しむだけでなく、学習活動、野外活動、レクリエーション活動、社会活動、文化活動などを通じて協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりのこころを学びます。

☎0868(66)3086 ☎0868(66)3730

この他にも、下記の団体があります。

- 旭スポーツ少年団
- 柵原剣道スポーツ少年団



▲第18回美咲町少年少女サッカー大会

どのスポーツ少年団も人数が不足しており、美咲町内の学校から募集しています。

気になるスポーツがあれば、体験から始めてみませんか？

まずはお気軽にお問い合わせください。

**柵原ジュニアスターズ**

「一歩前へ!!」がチームの合言葉。どんなにつらくとも、どんなに苦しくても「一歩前へ!!」に活動しています。運動が得意な子も、苦手な子も一つのボールを追いかけませんか？見学・体験お待ちしております！



対象	美咲町内の小学校1年生～6年生
練習場所	農村型リゾート「南和気芝」グラウンド
練習時間	毎週月・木曜日 午後6時30分～午後8時30分 毎週土・日曜日 午前9時～正午
会費	2,000円/月（入団金：1万円）
問い合わせ	事務局 宮内 ☎080(1919)1457

**柵原スポーツ少年団 ミニバスケットボール男女部**

「楽しいバスケット」、そして「体を動かすことが大好きな子ども達を増やそう!」をモットーに活動しています。運動が得意な子も、苦手な子も一つのボールを追いかけませんか？見学・体験お待ちしております！



対象	美咲町内の小学校1年生～6年生
練習場所	柵原小学校体育館
練習時間	毎週月・木曜日 午後7時～午後9時
会費	8,000円/年
問い合わせ	柵原スポーツ少年団 団長 相澤 和彦 ☎090(9062)1459

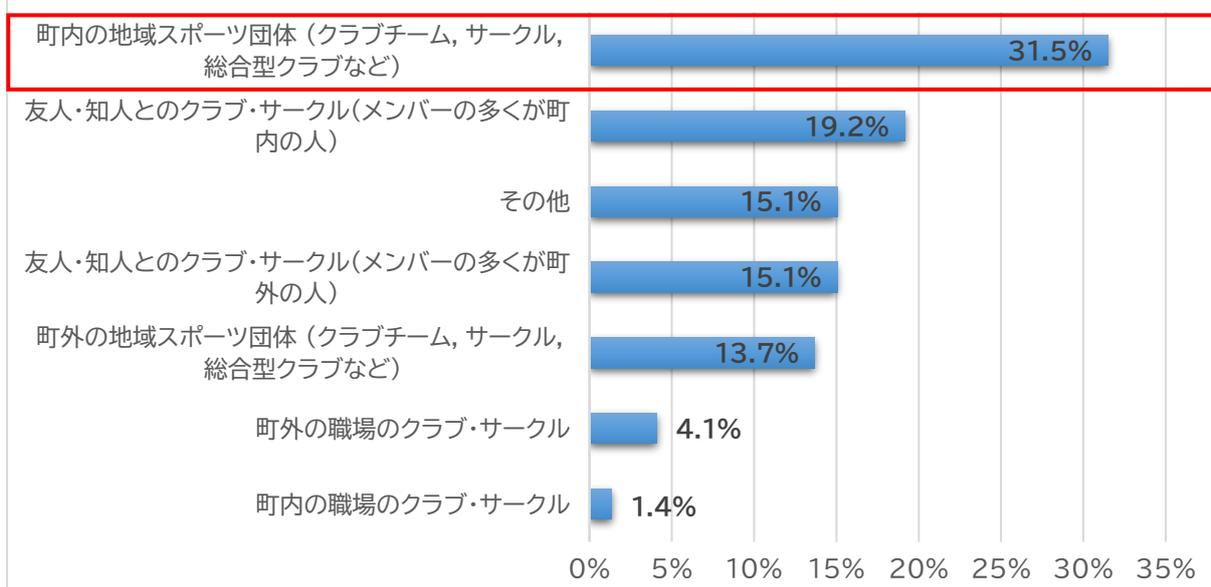
「広報みさき」から

(19) あなたが所属しているスポーツ団体の種類についてお答えください。

【現状】

○所属しているスポーツ団体の種類を見ると、「町内の地域スポーツ団体（クラブチーム、サークル、総合型クラブなど）」と答えた方が31.5%と最も多く、全体の3割で男女ともに地域スポーツ団体に参加していることがわかりました。また、男性では「友人・知人とのクラブ・サークル(メンバーの多くが町外の人)」と回答した方が23.7%で、女性では「友人・知人とのクラブ・サークル(メンバーの多くが町内の人)」と回答した方が22.9%で、男性は町外のサークルに、女性は町内のサークルに参加する傾向があることがわかりました。

■所属しているスポーツ団体の種類



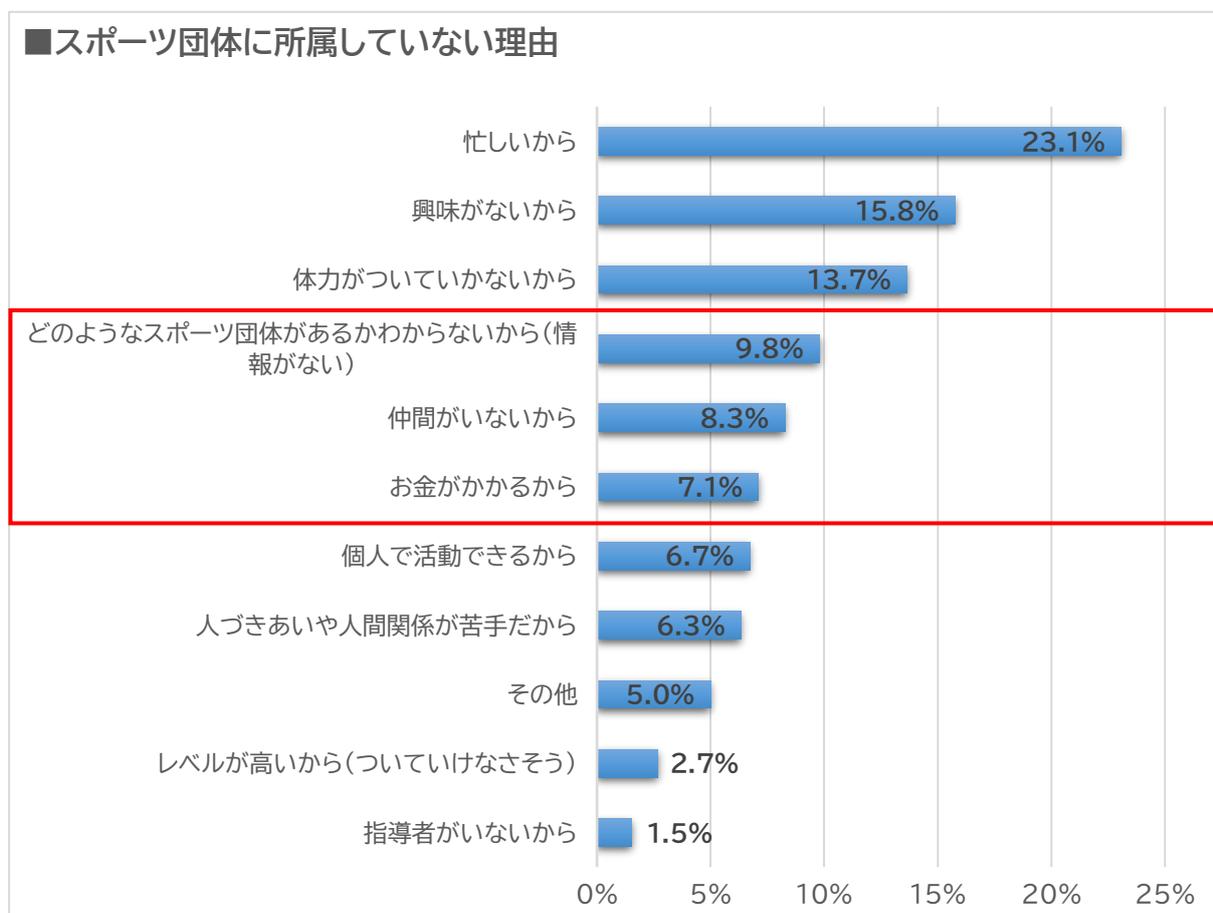
	町内の地域スポーツ団体（クラブチーム、サークル、総合型クラブなど）	町外の地域スポーツ団体（クラブチーム、サークル、総合型クラブなど）	町内の職場のクラブ・サークル	町外の職場のクラブ・サークル	友人・知人とのクラブ・サークル(メンバーの多くが町内の人)	友人・知人とのクラブ・サークル(メンバーの多くが町外の人)	その他
全体	31.5%	13.7%	1.4%	4.1%	19.2%	15.1%	15.1%

性別	町内の地域スポーツ団体（クラブチーム、サークル、総合型クラブなど）	町外の地域スポーツ団体（クラブチーム、サークル、総合型クラブなど）	町内の職場のクラブ・サークル	町外の職場のクラブ・サークル	友人・知人とのクラブ・サークル(メンバーの多くが町内の人)	友人・知人とのクラブ・サークル(メンバーの多くが町外の人)	その他
男性	26.3%	15.8%	0.0%	5.3%	15.8%	23.7%	13.2%
女性	37.1%	11.4%	2.9%	2.9%	22.9%	5.7%	17.1%

(20) 現在、スポーツ団体に所属していない理由は何ですか。

**【現状】**

○スポーツ団体に所属していない理由を見ると、「忙しいから」と答えた方が 23.1% と最も多く、男女ともに主体的条件(忙しい, 興味がない, 体力がない)が最も大きな非所属理由であることがわかりました。また、年齢が上がるとともに「体力がついていかない」という理由で参加しなくなる傾向や、経営的条件(情報, 仲間, コスト)は 10%程度の人にとって非所属原因になっていることがわかりました。



全体	忙しいから	興味がな いから	どのよう なスポー ツ団体が あるかわ からない から(情 報がな い)	仲間がい ないから	レベルが 高いから (ついて いけなさ そう)	お金がか かるから	人づきあ いや人間 関係が苦 手だから	個人で活 動できる から	指導者が いないか ら	体力がつ いていか ないから	その他
		23.1%	15.8%	9.8%	8.3%	2.7%	7.1%	6.3%	6.7%	1.5%	13.7%

性別	忙しいから	興味がな いから	どのよう なスポー ツ団体が あるかわ からない から(情 報がな い)	仲間がい ないから	レベルが 高いから (ついて いけなさ そう)	お金がか かるから	人づきあ いや人間 関係が苦 手だから	個人で活 動できる から	指導者が いないか ら	体力がつ いていか ないから	その他
	男性	20.9%	20.1%	8.8%	8.4%	2.5%	5.9%	7.1%	8.4%	2.1%	12.6%
女性	24.9%	12.1%	10.7%	8.2%	2.8%	8.2%	5.7%	5.3%	1.1%	14.6%	6.4%

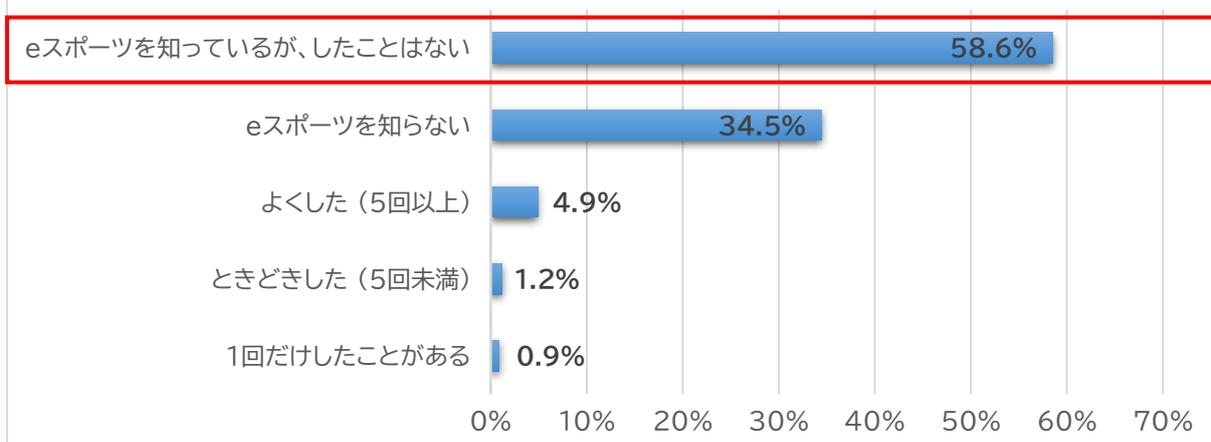
年代	忙しいから	興味がな いから	どのよう なスポー ツ団体が あるかわ からない から(情 報がな い)	仲間がい ないから	レベルが 高いから (ついて いけなさ そう)	お金がか かるから	人づきあ いや人間 関係が苦 手だから	個人で活 動できる から	指導者が いないか ら	体力がつ いていか ないから	その他
	10代	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%
20代	29.4%	11.8%	11.8%	11.8%	0.0%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%
30代	32.4%	16.2%	8.1%	8.1%	5.4%	10.8%	8.1%	2.7%	0.0%	8.1%	0.0%
40代	23.0%	17.6%	14.9%	10.8%	2.7%	9.5%	6.8%	5.4%	2.7%	5.4%	1.4%
50代	22.9%	20.0%	6.7%	9.5%	2.9%	13.3%	7.6%	5.7%	0.0%	8.6%	2.9%
60代	27.7%	15.1%	12.6%	7.6%	2.5%	2.5%	7.6%	7.6%	1.7%	10.9%	4.2%
70代	19.2%	15.8%	8.3%	7.5%	2.5%	3.3%	5.0%	7.5%	2.5%	18.3%	10.0%
80代以上	7.7%	5.1%	5.1%	5.1%	2.6%	2.6%	2.6%	7.7%	2.6%	48.7%	10.3%

(21) この1年間にeスポーツ（インターネットにつながったゲーム機で対戦相手と競い合うゲーム）をしましたか。

**【現状】**

○eスポーツについての認知度を見ると、「eスポーツを知っているが、したことはない」と答えた方が58.6%と最も多く、全体の6割であることがわかりました。「経験をしたことのある」、「知っている」と回答した方が、男女とも全体の6割程度と世代関係なく高い確率で経験があることがわかりました。特に男性40代以下の10%以上は経験があることがわかりました。

**■eスポーツについての状況**



全体	eスポーツを知っているが、したことはない	eスポーツを知らない	よくした(5回以上)	ときどきした(5回未満)	1回だけしたことがある
	58.6%	34.5%	4.9%	1.2%	0.9%

性別	eスポーツを知っているが、したことはない	eスポーツを知らない	よくした(5回以上)	ときどきした(5回未満)	1回だけしたことがある
	男性	59.6%	30.1%	7.7%	1.3%
女性	57.7%	38.1%	2.6%	1.1%	0.5%

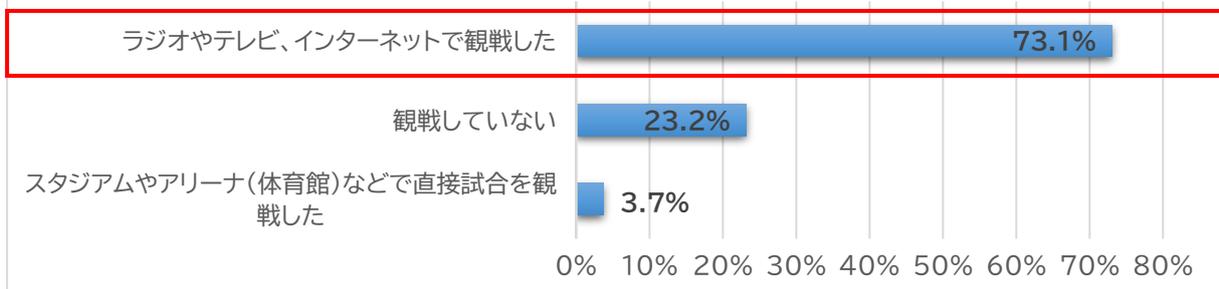
年代	eスポーツを知っているが、したことはない	eスポーツを知らない	よくした(5回以上)	ときどきした(5回未満)	1回だけしたことがある
	10代	41.7%	8.3%	50.0%	0.0%
20代	64.3%	7.1%	21.4%	7.1%	0.0%
30代	81.0%	14.3%	4.8%	0.0%	0.0%
40代	79.5%	12.8%	5.1%	2.6%	0.0%
50代	80.4%	17.6%	2.0%	0.0%	0.0%
60代	58.4%	39.0%	0.0%	1.3%	1.3%
70代	50.0%	43.5%	4.3%	1.1%	1.1%
80代以上	20.5%	76.9%	0.0%	0.0%	2.6%

(22) この1年間に(オリンピック・パラリンピックを除いて)スポーツ観戦を行いましたか。

**【現状】**

○みるスポーツについての認知度を調査するため、この1年間に(オリンピック・パラリンピックを除いて)スポーツ観戦についての調査をしたところ、「ラジオやテレビ、インターネットで観戦した」と答えた方が全体の70%を超え、一方、直接観戦は10%を下回っていることがわかりました。

**■スポーツ観戦を行いましたか？**

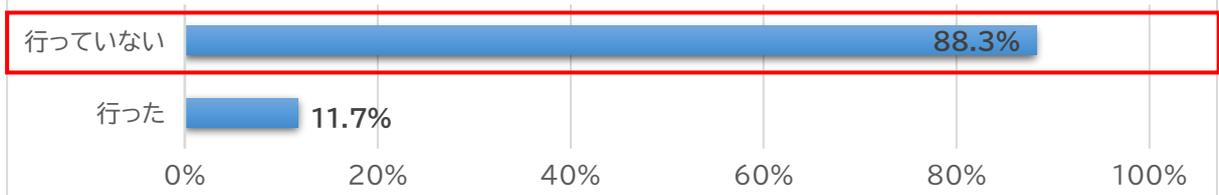


(23) この1年間に、スポーツの指導やイベントへの協力など、スポーツに関わるお手伝いやボランティア活動を行いましたか。

**【現状】**

○支えるスポーツに関するボランティア活動では、過去1年間にスポーツの指導やイベントの協力など、スポーツに関するボランティア活動を「行っていない」と回答した方が全体の88.3%で、行った人の割合は11.7%となっています。支えるスポーツ参加者は男女ともに10%程度に留まるなか、男女ともに主に70代以上が地域スポーツを支えていることがわかりました。

**■スポーツに関するボランティア活動**

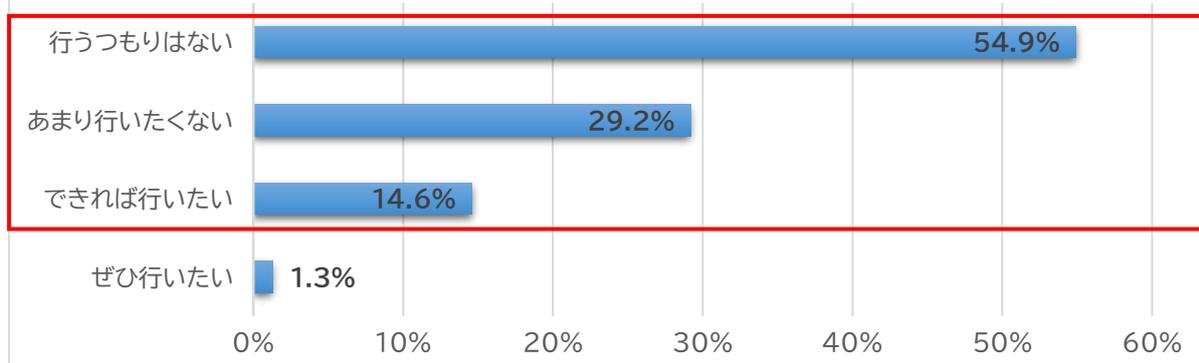


(24) 【(23)で「2 行っていない」と回答した方にお聞きします。】  
 今後、スポーツに関わるお手伝いやボランティア活動を行いたいと思いますか。

【現状】

○今後、スポーツに関わるお手伝いやボランティア活動では、男女ともに8割以上が参加する気がないと回答しています。一方、若い人(男性 30 代以下, 女性 20 代以下)は他の年代と比べて参加動機が強いことがわかります。

■今後、スポーツに関わるお手伝いやボランティア活動



全体	行うつもりはない	あまり行いたくない	できれば行いたい	ぜひ行いたい
	54.9%	29.2%	14.6%	1.3%

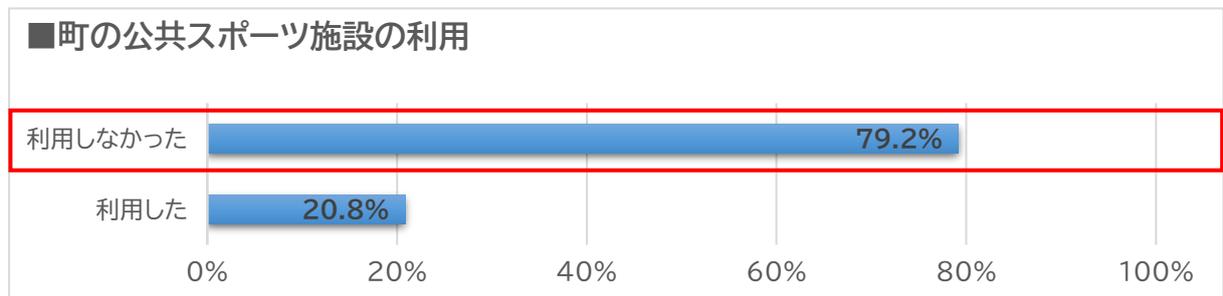
性別	行うつもりはない	あまり行いたくない	できれば行いたい	ぜひ行いたい
	男性	57.4%	19.2%	19.2%
女性	48.1%	32.6%	17.2%	2.1%

年代	行うつもりはない	あまり行いたくない	できれば行いたい	ぜひ行いたい
	10代	36.4%	9.1%	45.5%
20代	30.8%	38.5%	30.8%	0.0%
30代	61.1%	27.8%	0.0%	11.1%
40代	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%
50代	53.2%	25.5%	19.1%	2.1%
60代	54.2%	33.3%	12.5%	0.0%
70代	52.3%	33.7%	14.0%	0.0%
80代以上	77.1%	11.4%	11.4%	0.0%

### ③美咲町のスポーツ施設について

(25) この1年間で、公共スポーツ施設（社会体育施設や学校体育施設の体育館、グラウンドなど）を、運動やスポーツの目的のために利用しましたか。

**【現状】**  
 ○町の公共スポーツ施設の利用状況では、「利用しなかった」と回答した割合は、男女ともに全体のおよそ80%の人が施設を利用していないと回答しています。全体のおよそ80.0%となっています。一方、「利用した」と回答した人の中心は、若い世代と高齢世代であることが分かりました。



全体	利用した	利用しなかった
	20.8%	79.2%

性別	利用した	利用しなかった	
	男性	21.6%	78.4%
	女性	20.2%	79.8%

年代	利用した	利用しなかった
	10代	25.0%
20代	14.3%	85.7%
30代	47.1%	52.9%
40代	28.9%	71.1%
50代	10.0%	90.0%
60代	6.8%	93.2%
70代	25.5%	74.5%
80代以上	31.6%	68.4%

(26) 利用したことのある施設であてはまる番号すべてに○をつけてください。

【複数回答】

**【現状】**  
 ○町の公共スポーツ施設で利用したことのある施設の複数回答では、利用者は、主に居住地域内の施設を利用していることが分かりました。また、次の施設はマーケットが広い(全地域から利用がある)ことも分かりました。  
 中央運動公園 総合体育館／中央かめっちグラウンドゴルフ場／さくらグラウンド／エイコンパーク グラウンドゴルフ場・多目的グラウンド

(27) 【(25)で「2 利用しなかった」と回答した方にお聞きします。】  
利用しなかった理由は何ですか。

【複数回答】

【現状】

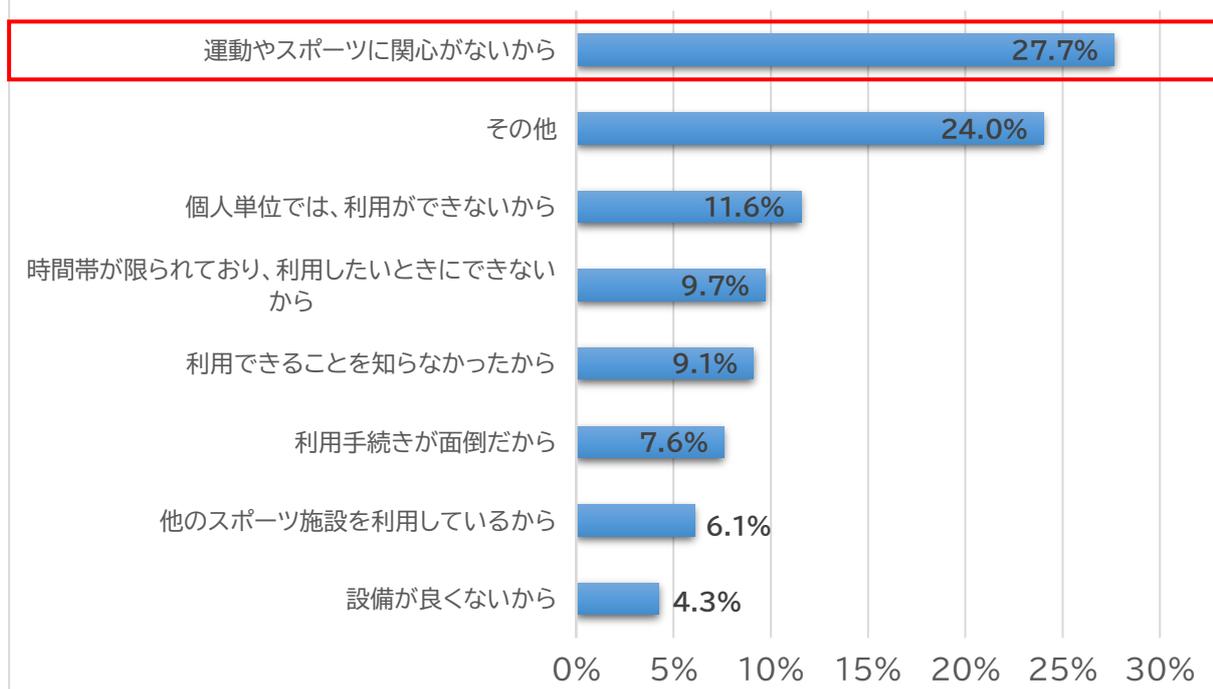
○町の公共スポーツ施設を利用しなかった理由では、理由は様々であり「運動やスポーツに関心がないから」と「その他」と回答した割合は、ほぼ同じ割合であることが分かりました。

【課題】

○運動施設が気軽に利用できるよう、利用条件等の見直しも行いながら、運動・スポーツのさらなるきっかけづくりの推進とともに、分かりやすく情報を発信していくことが重要です。

○学校体育施設について、利用条件の見直しや利用方法の簡略化等、利便性を高めることで、より活動しやすい環境を整える必要があります。

■町の公共スポーツ施設を利用しなかった理由



■その他の回答の主なもの

- ・新型コロナの影響でいろいろな活動ができなかったため
- ・忙しくて時間が取れないため
- ・年齢的、体力的に体がついていけないから
- ・利用するほどのスポーツをしていないため
- ・施設を利用したことがないからわからないため

(28) 身近な公共スポーツ施設の数についてどう思いますか。

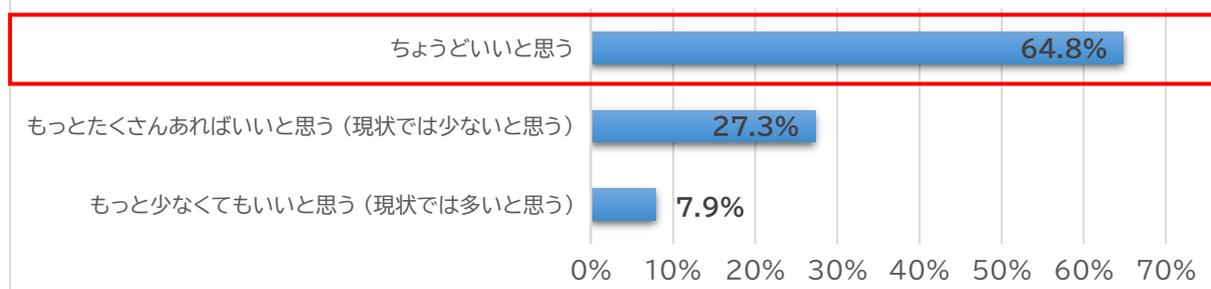
【現状】

○町の公共スポーツ施設の設置数では、「ちょうどいいと思う」と回答した割合は、全体の64.8%となっています。男女ともに60%程度の方は施設数に満足していることが分かります。一方、男性50代以下、女性60代以下の30%以上が、施設が増えてほしいと思っていることが分かりました。

【課題】

○公共スポーツ施設の数について、全体の約6割が「ちょうどいいと思う」と回答しており、町内の公共施設の活用等、町民の身近な運動・スポーツ活動の場の充実に取り組む必要があります。

■町の公共スポーツ施設の設置数



	ちょうどいいと思う	もっとたくさんあればいいと思う (現状では少ないと思う)	もっと少なくてもいいと思う (現状では多いと思う)
全体	64.8%	27.3%	7.9%

性別	ちょうどいいと思う	もっとたくさんあればいいと思う (現状では少ないと思う)	もっと少なくてもいいと思う (現状では多いと思う)
男性	61.8%	25.0%	13.2%
女性	67.3%	29.2%	3.6%

年代	ちょうどいいと思う	もっとたくさんあればいいと思う (現状では少ないと思う)	もっと少なくてもいいと思う (現状では多いと思う)
10代	45.5%	54.5%	0.0%
20代	57.1%	35.7%	7.1%
30代	47.6%	47.6%	4.8%
40代	68.4%	26.3%	5.3%
50代	50.0%	41.3%	8.7%
60代	67.2%	26.6%	6.3%
70代	71.8%	14.1%	14.1%
80代以上	81.3%	15.6%	3.1%

#### ④スポーツに関する情報入手方法について

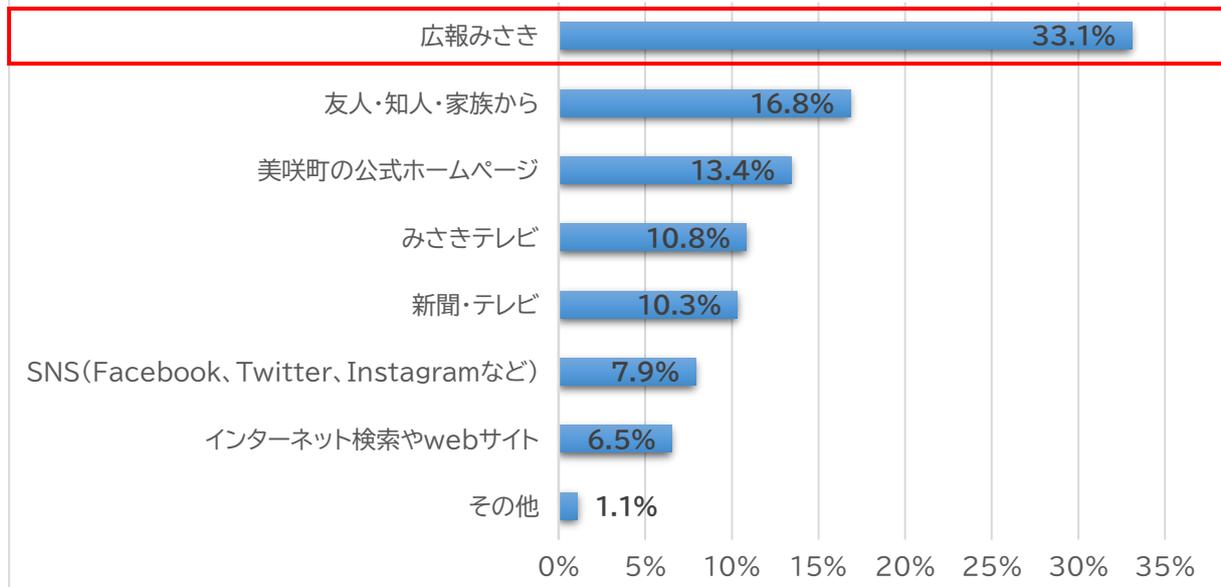
(29) あなたは地域のスポーツイベントや行事等に関する情報を、どのようなものから入手したいですか。

【複数回答】

##### 【現状】

○地域のスポーツイベントや行事等に関する情報の入手方法では、情報入手経路は多様に要望されているなか、「広報みさき」と回答した割合は、全体の33.1%となっています。このことから「広報みさき」が、町民への情報発信方法として有効な情報ツールとなっていることが分かります。

##### ■地域のスポーツイベントや行事等に関する情報の入手方法について



「広報みさき」から

(30) 町の運動やスポーツに関する情報のうちどのような情報が欲しいと思いますか。

【複数回答】

【現状】

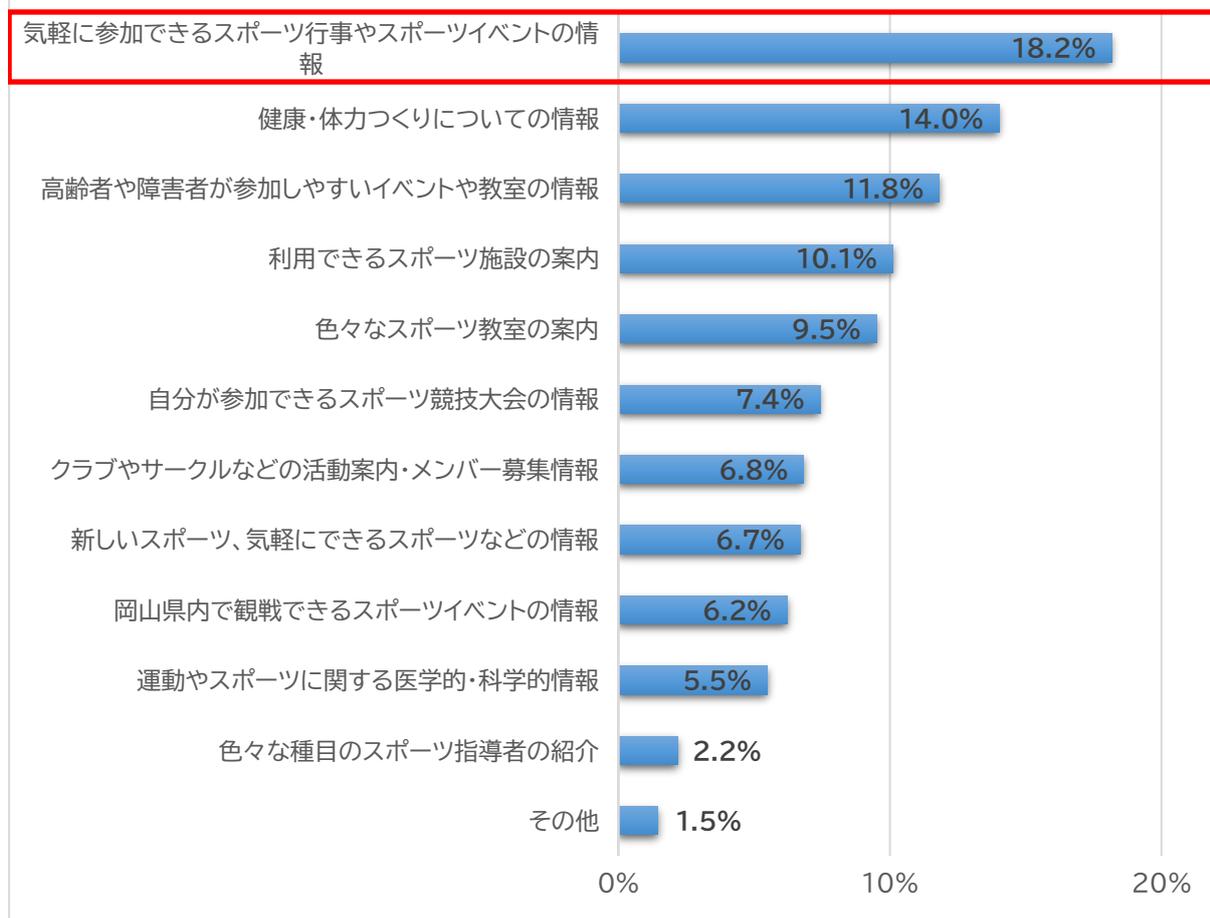
○運動やスポーツに関する情報内容の意見については、「気軽に参加できるスポーツ行事やスポーツイベントの情報」が全体の18.2%と高く、続いて「健康・体力づくりについての情報」が14.0%、「高齢者や障害者が参加しやすいイベントや教室の情報」が11.8%、「利用できるスポーツ施設の案内」が10.1%となっています。年代を問わず多様な情報を要望されていることが分かります。

【課題】

○「広報みさき」に限らず、様々な情報発信方法を活用し、より分かりやすく、より簡単に入手出来るよう提供していく必要があります。

○運動・スポーツだけでなく、健康や体力づくりの観点から身体を動かすきっかけづくりを推進していく必要があります。

■町の運動やスポーツに関する情報について



全体	気軽に参加 できるス ポーツ行 事やスポ ーツイ ベントの 情報	健康・体力 つくりにつ いての情報	高齢者や障 害者が参加 しやすいイ ベントや教 室の情報	利用できる スポーツ施 設の案内	色々なス ポーツ教室 の案内	自分が参加 できるス ポーツ競技 大会の情報	クラブや サークルな どの活動案 内・メンバー 募集情報	新しいス ポーツ、気 軽にできる スポーツな どの情報	岡山県内で 観戦できる スポーツイ ベントの情 報	運動やス ポーツに関 する医学的 ・科学的情報	色々な種目 のスポーツ 指導者の紹 介	その他
	18.2%	14.0%	11.8%	10.1%	9.5%	7.4%	6.8%	6.7%	6.2%	5.5%	2.2%	1.5%

性別	気軽に参加 できるス ポーツ行 事やスポ ーツイ ベントの 情報	健康・体力 つくりにつ いての情報	高齢者や障 害者が参加 しやすいイ ベントや教 室の情報	利用できる スポーツ施 設の案内	色々なス ポーツ教室 の案内	自分が参加 できるス ポーツ競技 大会の情報	クラブや サークルな どの活動案 内・メンバー 募集情報	新しいス ポーツ、気 軽にできる スポーツな どの情報	岡山県内で 観戦できる スポーツイ ベントの情 報	運動やス ポーツに関 する医学的 ・科学的情報	色々な種目 のスポーツ 指導者の紹 介	その他	
	男性	18.9%	12.8%	9.4%	10.0%	8.3%	10.8%	6.7%	5.6%	7.8%	5.6%	2.2%	1.9%
	女性	17.6%	15.0%	13.7%	10.2%	10.4%	4.8%	7.0%	7.6%	5.0%	5.4%	2.2%	1.1%

年代	気軽に参加 できるス ポーツ行 事やスポ ーツイ ベントの 情報	健康・体力 つくりにつ いての情報	高齢者や障 害者が参加 しやすいイ ベントや教 室の情報	利用できる スポーツ施 設の案内	色々なス ポーツ教室 の案内	自分が参加 できるス ポーツ競技 大会の情報	クラブや サークルな どの活動案 内・メンバー 募集情報	新しいス ポーツ、気 軽にできる スポーツな どの情報	岡山県内で 観戦できる スポーツイ ベントの情 報	運動やス ポーツに関 する医学的 ・科学的情報	色々な種目 のスポーツ 指導者の紹 介	その他	
	10代	14.3%	9.5%	0.0%	19.0%	9.5%	4.8%	9.5%	4.8%	19.0%	9.5%	0.0%	0.0%
	20代	30.8%	3.8%	3.8%	11.5%	3.8%	23.1%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	22.7%	4.5%	4.5%	15.9%	15.9%	4.5%	6.8%	4.5%	9.1%	4.5%	2.3%	4.5%
	40代	14.3%	7.1%	4.8%	12.7%	14.3%	7.9%	11.1%	7.9%	10.3%	4.8%	4.0%	0.8%
	50代	17.1%	13.0%	5.5%	13.0%	14.4%	6.2%	8.2%	8.2%	6.2%	6.8%	0.7%	0.7%
	60代	20.2%	21.3%	11.2%	9.6%	6.2%	6.2%	5.1%	6.7%	5.6%	4.5%	2.2%	1.1%
	70代	16.9%	15.9%	19.9%	7.0%	8.0%	9.5%	6.0%	4.5%	3.5%	4.5%	3.0%	1.5%
	80代以上	19.2%	15.4%	25.6%	3.8%	2.6%	3.8%	0.0%	9.0%	5.1%	10.3%	1.3%	3.8%



ワンバウンドふらばーるパレーボール大会



第9回  
美咲チャレンジロードレース大会

主催：美咲チャレンジ実行委員会

美咲チャレンジロードレース大会



ミニバスケットボール大会



少年少女サッカー交歓大会

「広報みさき」から

## ⑤美咲町のスポーツ施策について

(31) 地域のスポーツ活動を振興するために、今後どのようなことに力を入れてもらいたいですか。

【複数回答】

### 【現状】

○地域のスポーツ活動の振興に対する意見では、多様な地域スポーツ振興施策が期待されていることが分かります。中でも「スポーツ施設・関連施設の整備」が全体の20.7%と高く、続いて「地域のスポーツクラブやサークルの育成支援」が14.6%、「スポーツイベント・大会・教室の開催」が13.5%となっています。

### 【課題】

○町民が運動・スポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の整備を検討していく必要があります。

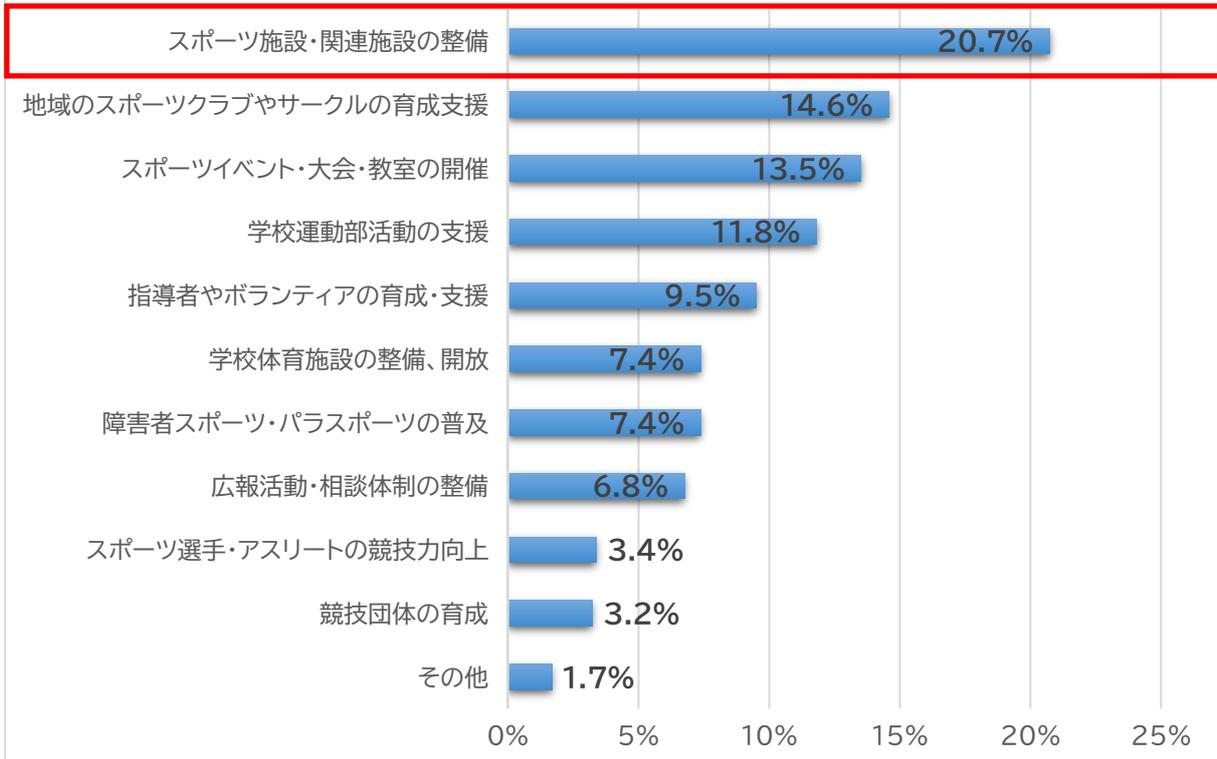
○地域のスポーツ活動がより活性化するよう、スポーツ団体等への支援を行っていく必要があります。

○学校部活動に関して、地域と学校との連携を検討していく必要があります。

○地域のスポーツ活動を支えるスポーツボランティアを育成し、町民の主体的なスポーツ活動を支える体制整備について、検討していく必要があります。

○スポーツ指導者の育成や資質向上、スポーツ活動環境の向上を図るため、スポーツ指導者の資格取得に対する支援について、検討していく必要があります。

## ■地域のスポーツ活動の振興に対する要望



全体	スポーツ施設・関連施設の整備	地域のスポーツクラブやサークルの育成支援	スポーツイベント・大会・教室の開催	学校運動部活動の支援	指導者やボランティアの育成・支援	障害者スポーツ・パラスポーツの普及	学校体育施設の整備、開放	広報活動・相談体制の整備	スポーツ選手・アスリートの競技力向上	競技団体の育成	その他
	20.7%	14.6%	13.5%	11.8%	9.5%	7.4%	7.4%	6.8%	3.4%	3.2%	1.7%

性別	スポーツ施設・関連施設の整備	地域のスポーツクラブやサークルの育成支援	スポーツイベント・大会・教室の開催	学校運動部活動の支援	指導者やボランティアの育成・支援	障害者スポーツ・パラスポーツの普及	学校体育施設の整備、開放	広報活動・相談体制の整備	スポーツ選手・アスリートの競技力向上	競技団体の育成	その他
男性	20.1%	13.4%	14.9%	11.6%	10.1%	7.3%	7.9%	5.2%	3.4%	4.3%	1.8%
女性	21.4%	15.8%	12.1%	12.1%	9.0%	7.4%	6.8%	8.4%	3.4%	2.2%	1.5%

年代	スポーツ施設・関連施設の整備	地域のスポーツクラブやサークルの育成支援	スポーツイベント・大会・教室の開催	学校運動部活動の支援	指導者やボランティアの育成・支援	障害者スポーツ・パラスポーツの普及	学校体育施設の整備、開放	広報活動・相談体制の整備	スポーツ選手・アスリートの競技力向上	競技団体の育成	その他
10代	31.3%	6.3%	6.3%	25.0%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	12.5%
20代	20.8%	16.7%	12.5%	8.3%	4.2%	4.2%	8.3%	8.3%	12.5%	0.0%	4.2%
30代	31.4%	11.4%	14.3%	11.4%	2.9%	11.4%	5.7%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%
40代	15.2%	14.1%	15.2%	16.2%	8.1%	7.1%	11.1%	5.1%	2.0%	5.1%	1.0%
50代	18.7%	15.0%	17.8%	12.1%	5.6%	8.4%	8.4%	7.5%	1.9%	3.7%	0.9%
60代	25.7%	14.0%	10.3%	11.8%	11.8%	6.6%	5.9%	9.6%	2.2%	2.2%	0.0%
70代	18.9%	18.2%	11.9%	10.7%	11.3%	6.9%	6.9%	6.9%	1.9%	3.1%	3.1%
80代以上	18.7%	10.7%	16.0%	6.7%	16.0%	8.0%	6.7%	4.0%	9.3%	4.0%	0.0%

(32) 美咲町民の健康づくりや介護予防のために、どのような取り組みが必要だと考えますか。

【複数回答】

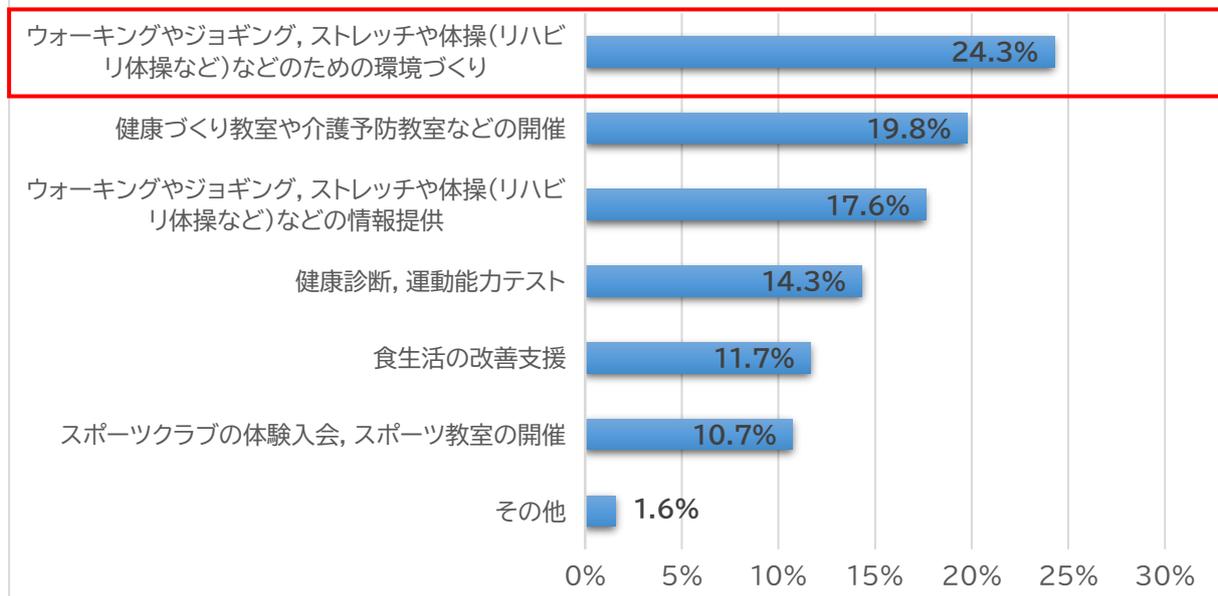
【現状】

○健康づくりや介護予防のために、どのような取り組みが必要かでは、性別・世代に関わらず多様な施策が期待されており、中でも「ウォーキングやジョギング, ストレッチや体操(リハビリ体操など)などのための環境づくり」が全体の 24.3%と高く、続いて「健康づくり教室や介護予防教室などの開催」が 19.8%、「ウォーキングやジョギング, ストレッチや体操(リハビリ体操など)などの情報提供」が 17.6%となっています。

【課題】

○運動・スポーツを通じて、健康づくりや介護予防の推進を図るため、スポーツ推進団体等をはじめとする、保健・福祉、学校、町内会(自治会)、社会福祉協議会等、地域で活躍する団体・企業(民間事業者)や大学(学識経験者)等と連携・協働が重要です。  
○地域のスポーツ活動を支えるスポーツボランティアを育成し、町民の主体的なスポーツ活動を支える体制整備について、検討していく必要があります。

■健康づくりや介護予防のための取り組みについて



(33) 町では「競技スポーツの推進」にも努めています。今後、全国大会や世界で活躍する選手を生み出すために、何が必要だと思いますか。

【複数回答】

【現状】

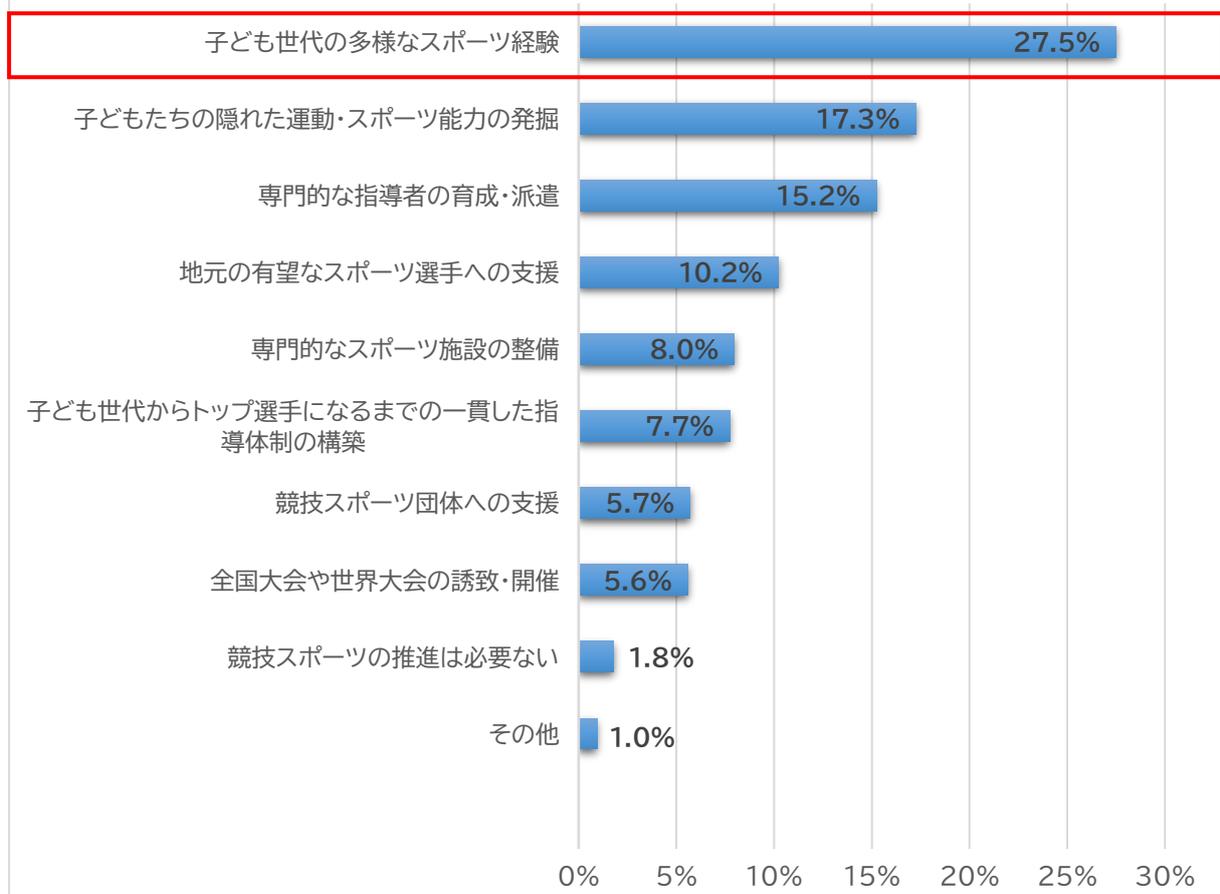
○今後、全国大会や世界で活躍する選手を生み出すために、何が必要だと思いますかという質問では、性別・世代に関わらず多様な施策が期待されており、中でも「特に「子ども世代の多様なスポーツ経験」への期待が突出して全体の 27.5%と高く、続いて「子どもたちの隠れた運動・スポーツ能力の発掘」が 17.3%、「専門的な指導者の育成・派遣」が 15.2%となっています。相対的に男性の方が期待度が高い結果が分かります。

【課題】

○特定の種目だけでなく、様々な種目に参加できる総合型地域スポーツクラブのようなクラブを支援していく必要があります。

○スポーツ団体の支援を通じ、専門的な指導者の育成や技術のある選手への支援を行うことを検討していく必要があります。

■競技スポーツの推進に必要なもの



# 第3章

—スポーツ推進の施策—

# 1 計画の基本的な考え方

## (1) 基本理念

本町の最上位計画である「美咲町第三次振興計画」には、美咲町の将来像を【ひと輝くまち みさき】と描き、基本目標の4「生きる力を育むまちづくり（子育て・教育・文化・スポーツ）」には、「地域全体で子どもの健やかな成長を支えるとともに、みらい（将来）を担う子どもたちの豊かな心と優れた知性、生きる力を育むまちづくりを進めます。また、幅広い世代の住民一人ひとりが生涯学び続け、チャレンジし続けられるまちづくりを進めます。」と掲げています。

そして「美咲町生涯学習推進計画」において、「生涯にわたって楽しく学び、郷土を愛し、生きる力を育む ～ みさきの持続可能な拓かれた未来へ～」を基本理念に、「ひと」がいきいきと輝く全てのステージにおいて学習でき、美咲町の持続可能なまちづくりの力へと発展していくため推進方針4の「健康づくりと生涯スポーツの推進」による基本理念の実現に向けた取組を推進します。

本計画では、これらの上位計画に基づき、自然豊かな環境の下、町民・団体が自主的、積極的に活動し、交流を深め、運動・スポーツに関して様々なかたちで参加できるまちを目指して、「町民だれも<sup>※</sup>が、それぞれの体力や年齢、技能、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフの実現」を基本理念として掲げます。

## 基本理念

町民だれもが、それぞれの体力や年齢、技能、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフの実現

※「だれも」とは…幼児，児童，青少年，働き世代の大人，高齢者，障がい者，運動している人，運動していない人など全ての町民のことを指しています。

## (2) 本計画が目指す将来像

基本理念に基づき、本計画が目指す将来の姿は、以下のとおりとします。

### 「将来の姿」

町民・団体等の自主的、積極的な活動を支援することで、町民の誰もが、運動・スポーツに親しめる環境が整っている。

## (3) 数値目標

本計画では、本町が定めるスポーツ推進の基本理念に基づき、計画期間における数値目標として「週1日以上運動・スポーツ実施率」を目標に掲げます。この数値目標の達成に向け、より一層施策の強化を図っていきます。

令和7（2025）年度に向けた、スポーツ推進の数値目標を設定します。

### 「数値目標」

週1日以上運動・スポーツ実施率 **50%以上**  
(現状値 35.4 %)

週3日以上運動・スポーツ実施率 **20%以上**  
(現状値 17.0 %)

参考：国の政策目標（第2期スポーツ基本計画（平成29年3月））

週1回以上 65 %程度

週3回以上 30 %程度

県の数値目標（令和2年度）

週1日以上 52 %

## (4) 基本目標

第2章で整理したスポーツ推進の課題を基に、将来の姿の実現に向けて3つの基本目標を掲げます。

### 基本目標 1 生涯スポーツ活動の機会の充実

町民だれもが、生涯にわたって心身ともに健康で豊かな生活を送れるために、町民一人ひとりの興味や目的、ライフステージに応じて、運動・スポーツに親しめるよう、多様なスポーツ活動の機会を充実させます。

また、スポーツ関係団体等が地域に根差したスポーツ活動を継続して実施できるよう支援を行い、町民が地域で仲間たちと気軽に運動・スポーツを楽しみ、地域のコミュニケーションの場が図れる環境を整えます。

### 基本目標 2 生涯スポーツ活動のための環境づくりの推進

スポーツ施設の充実や適切な維持管理により、町民の運動・スポーツ活動の環境を整えます。さらに、庁内の関係部署等が所管する施設との連携を図り、運動・スポーツ活動の場を充実します。

また、ニュースポーツなど地域の特性を活かした生涯スポーツの普及や、「する」「みる」「ささえる」スポーツのきっかけとなる「知る」観点から、スポーツ情報の積極的な発信を行います。

### 基本目標 3 生涯スポーツ活動の推進体制の再構築

町民が生涯にわたり健康的に運動・スポーツに親しむ環境を整備するため、スポーツ推進委員やスポーツ関係団体等の連携強化や、大学・企業との連携・協働を進め様々な人材を活かした推進体制を構築します。

また、町内のスポーツ振興をより推進するため、スポーツ関係団体等が自主的かつ継続的に活動できるよう支援します。

## (5) 計画の体系

3つの基本目標を達成するため、それぞれの基本施策を次のとおり掲げます。

### 基本目標1

#### 生涯スポーツ活動の機会の充実

基本施策（1）運動・スポーツを始める機会提供

基本施策（2）日常的に運動・スポーツをする機会提供

基本施策（3）競技スポーツへの参加機会提供

### 基本目標2

#### 生涯スポーツ活動のための環境づくり推進

基本施策（1）スポーツ・健康づくりに親しむ基盤となる環境整備

基本施策（2）地域の特性を活かした運動・スポーツの普及

基本施策（3）的確な運動・スポーツ情報の提供

### 基本目標3

#### 生涯スポーツ活動の推進体制の再構築

基本施策（1）連携・協働によるスポーツ活動の推進

基本施策（2）運動・スポーツに関わる人材育成と団体等への支援

## 基本目標 1 生涯スポーツ活動の機会の充実

### 基本施策（1）運動・スポーツを始める機会提供

だれもが気軽に運動・スポーツに親しむことができるよう、家庭や地域、学校等と連携・協働し、スポーツ教室やイベント等を開催します。

また、生活習慣病予防や健康増進、仲間との交流等、多角的な視点で運動・スポーツと関連付けた取組みを推進していきます。

#### 現状と課題

生涯にわたって運動・スポーツに親しむためには、子どもの頃から家庭、学校、地域、競技団体等との連携により、日常的にスポーツ活動に取り組める環境づくりが必要です。

一方、ICT（情報通信技術）の発展や社会環境の変化等により、生活の利便性の向上や子どもたちを取り巻くスポーツ環境も変化し、運動をする人とまったくしない人の二極化が見られるようになりました。

町民を対象としたアンケート調査で、この1年間であまり運動やスポーツをしなかった理由として多くを占めたのが、50代以下の世代では、「忙しくて時間や休みがないから」と回答した方が約半数を占め、年齢が上がるにつれては、「体力や運動能力がないから」という理由が大半を占めています。また、情報、機会、仲間、施設（経営的条件）も運動・スポーツの実施の重要と課題となっています。

今後は、運動・スポーツ人口の拡大を図るため、スポーツ関係団体等との連携により、様々なスポーツ体験講座を実施するなど、各年代のライフスタイルに応じた取組みをさらに推進していくことが求められます。そして運動・スポーツを始めるきっかけづくりとして、気軽に運動・スポーツに親しめる環境を整えていくほか、健康づくりや体力向上、仲間との交流などと関連付けた取組みも推進していく必要があります。

## 施策の方向性

運動・スポーツをするきっかけづくりの推進  
健康増進や仲間との交流などを目的とした運動・スポーツ活動の推進

## 主な取組み

だれもが楽しめるスポーツ  
体験講座の実施

スポーツへの興味・関心・参加を促進するため、スポーツ関係団体等と協力してスポーツへのきっかけづくりを推進します。また、パラスポーツ体験会や介護予防を含めた催し物を開催し、障がいのある人もない人も一緒にスポーツの楽しさに触れ、スポーツの魅力や価値を共有する機会を創ることで、共生社会の実現に寄与します。

町民の体力測定の実施

あらゆる機会において、町民の体力測定を実施することで、自らの体力・健康状態を把握し、健康づくりや運動・スポーツを始めるためのきっかけづくりを推進します。また、採取したデータの結果分析を基に、課題の明確化と全国及び県内の状況を情報提供します。

スポーツ出前講座

町内会・自治会や地域団体等の会合等に出向いて、気軽にできるスポーツを普及することで、身体を動かすことの楽しさを伝えます。

スポーツ用具の貸出し

より多くの町民に気軽に運動・スポーツを行う機会を提供するため、スポーツ用具の貸出しを推進します。

## 基本施策（２）日常的に運動・スポーツをする機会提供

町民だれもが、身近な場所で気軽に運動・スポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブや地域の実情に合ったスポーツ団体の活動を支援すると共に、インターネットの積極的な活用など新たな視点や手法を取り入れ、より日常的に運動・スポーツに取り組める機会を提供します。

### 現状と課題

運動・スポーツには、体力の向上、ストレス発散、生活習慣病予防など心身の健康保持・増進のほか、青少年の健全育成、コミュニティーの形成など様々な効果が期待されており、町民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むためには、日常的に運動・スポーツに取り組める環境を整備することが重要となっています。

町民を対象としたアンケート調査で、「ウォーキング」、「ハイキング・登山系」、「エアロビ系」などの声があり、特定種目に限らず、様々な運動・スポーツを身近な場所で気軽に楽しみたいというニーズが高まっています。

また、国や県では、地域住民が自主的、主体的に運動・スポーツの機会を提供する地域スポーツクラブの創設を推奨していますが、本町においては、２つの総合型地域スポーツクラブが活動を行っています。（令和３年１０月現在）

今後も、ライフステージに応じた運動・スポーツの推進と環境整備のため、スポーツを行うことが困難な人にも配慮しつつ、子どもから高齢者まで、いつでも、どこでも、だれとでも気軽にスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブの育成と、地域の特色を生かしたスポーツを推進していくことが求められます。そして感染症等の新しい生活様式の下であっても、インターネットの積極的な活用や新たな視点での情報発信の手法を検討するなど、日常的に運動・スポーツに親しむ機会を提供していく必要があります。

## 施策の方向性

ライフステージに応じた運動・スポーツの推進と環境整備  
日常的に身体を動かす環境づくりの推進

## 主な取組み

地域の特色を生かした運動・スポーツ推進活動の支援

だれもが身近な地域で多種多様な運動・スポーツや健康づくりに親しめるように、総合型地域スポーツクラブの育成等、地域の特色を生かしたスポーツ推進団体の支援を行います。

日常的に取り組める運動・スポーツの普及啓発

身近で出来るウォーキングや、自宅で行えるラジオ体操やコロバン体操等など、ICT(情報通信技術)を活用し、社会環境の変化等による新たな視点や手法を取り入れ、より日常的に運動・スポーツに取り組めるための普及啓発に努めます。

運動・スポーツにおける安全確保の情報発信

安心・安全に運動・スポーツを行うために、自己の健康管理や感染症・熱中症などの注意喚起を、様々なツールで情報発信します。

## **基本施策（3）競技スポーツへの参加機会提供**

競技スポーツの発展や競技力向上を図るとともに、「みる」観点から競技スポーツへの関心を高め、競技スポーツを始めるきっかけづくりとなるよう、美咲町スポーツ協会等の競技団体が主催する町民大会等の開催を支援します。

また、全国大会等に出場する選手や団体の活躍を広く町民にPRすることで選手の意欲の向上を図るとともに、県内のトップレベルの選手による技術指導やトップアスリート合宿誘致事業を開催するなど、児童生徒等が選手との交流を通じてスポーツのきっかけづくりを創出し、町民に対して競技スポーツへの理解を深めます。

### **現状と課題**

本町出身の選手が国際大会や全国大会で活躍することは、子どもたちの憧れや目標となるとともに、町民に勇気や感動を与えてくれます。本町の競技スポーツ団体である美咲町スポーツ協会では、各種競技団体が定期的な練習のほか、町内関係団体との連携、協力のもと、町民がスポーツに参加できる機会を提供するとともに、指導者の育成など競技力向上に努めています。

一方、近年では、競技スポーツ人口が減少し、各競技団体の活動が縮小される傾向が懸念されます。

町民を対象としたアンケート調査で、競技スポーツの推進に必要なものについて、「子どもに様々なスポーツを体験させることで能力の発掘を期待する」「競技スポーツの推進には、専門的な指導者の育成や派遣が必要」との声が多くなっています。

今後は、各団体における若い世代の協力と参加を促進し、さらなる活動の拡充や広報活動に努め、町民が競技スポーツに対して、更に興味や関心が持てるよう、トップアスリートによる技術指導や交流会などの開催を検討していくことが求められます。そしてスポーツを「する」ことに苦手意識を持つ人でも、「みる」ことは気軽に行えます。「みる」ことから競技スポーツに関心を持ち、新たに競技スポーツを始めるきっかけとなるよう、「する」観点だけでなく、「みる」観点からの取組みも推進する必要があります。

## 施策の方向性

競技スポーツに関心を持つきっかけづくりの推進  
競技団体が主催する大会等の支援

## 主な取組み

トップアスリート等の活用

町民が競技スポーツに興味や関心が持てるよう、トップアスリート等による技術指導や交流・講演会を開催します。

各種スポーツ大会の会場の確保や周知等の支援

大会の会場確保や周知等を支援し、町民が競技スポーツに関わる機会を創出します。

HP等による優秀選手・団体のPR

表敬訪問に訪れた選手や団体をHP等で広くPRし競技者の意欲を向上させ、町民の競技スポーツへの理解を深めます。

国際大会等の情報提供

「みる」スポーツの観点から、県内で開催される国際大会等の情報を発信します。

## 基本目標 2 生涯スポーツ活動のための環境づくりの推進

### 基本施策（1）スポーツ・健康づくりに親しむ基盤となる環境整備

町民が身近な場所で運動・スポーツに親しむことができるよう、社会体育施設等の利用条件等を見直し、学校体育施設を含めた運動施設の有効な活用を図ること  
で、地域の運動・スポーツ環境を充実させます。

#### 現状と課題

本町のスポーツ施設は、中央総合運動公園内に「多目的グラウンド」や「テニスコート」、「野球場」が整備され、屋外スポーツ施設の拠点として、広く町に利用されています。

また、学校体育施設も町民の身近な運動・スポーツ活動の場として定着しており、屋内競技種目の重要な拠点ともなっています。特に学校体育施設について、利用条件の見直しや利用方法の簡略化等、利便性を高めることで、より活動しやすい環境を整える必要があります。

今後は、社会体育施設の利用条件の見直しや適切な維持管理、整備を図ること  
で、より気軽に施設利用が出来るよう、効果的・効率的な活用を図っていくとともに、老朽化してくる体育施設に求められる機能・性能を確保するため「長寿命化計画」を策定し、計画的な施設管理を行うことが求められます。そして稼働率の低い体育施設は統合・整理を検討し、不要と判断された体育施設については除却を進めるなど、町民が身近な場所で安全に運動・スポーツに親しめるよう、活動場所の整備を進めていく必要があります。

## 施策の方向性

町民の身近な運動・スポーツをする場の充実

## 主な取組み

町内スポーツ施設の効果的・  
効率的活用

社会体育施設や学校体育施設の利用条件等を見直し、スポーツ施設の利用促進を図ります。

スポーツ施設の整備検討

美咲町公共施設等総合管理計画や美咲町公共施設配置計画と連動しながら、今後のスポーツ施設整備の方向性を示します。

公共施設の活用

関係部署等が所管する施設との連携を図り、町民が身近な場所で安全に運動・スポーツに親しめ公共施設の活用が出来るよう、適切な維持管理、整備を進めていきます。

## **基本施策（２）地域の特性を活かした運動・スポーツの普及**

自然豊かな環境を活かし、気軽に運動・スポーツに親しめる取組みを推進します。また、友好都市協定を結ぶ大阪岬町とのスポーツ交流を行い、スポーツを通じた町民同士の交流を深めます。

### **現状と課題**

スポーツは健康及び体力の増進のみならず、心身の健全な発達、精神的な充足感の獲得、自立心等に効果があると言われています。特に青少年期におけるスポーツ活動は、体力を向上させるとともに、他者を尊重し、これと協働する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や精神力を培い、実践的な思考力や判断力を育むなど、人格の形成に大きな影響を及ぼします。

町民を対象としたアンケート調査で、この１年間で１回あたり３０分以上行った運動・スポーツで男性、女性ともに「ウォーキング」が５割を占め、「自身が今後やってみたいスポーツ」でも「ウォーキング」が高い人気を得るなど、地域の特性を活かし健康寿命を延ばすための意識した運動・スポーツの普及が求められています。

今後も、町内の農村型リゾート施設「南和気荘」と民間宿泊施設や三休公園「民話館」を活用して、小・中・高・大学生・社会人の野球や卓球チームの合宿誘致に取り組むなど、自然豊かな環境を活かし、日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、またはスポーツを支える活動に参画することのできる機会を提供していくことが必要です。

友好都市交流については、令和２（２０２０）年１１月に大阪府岬町と友好都市協定を結び、今後スポーツを通じた交流として、夏は町民がマリンスポーツを、秋は大阪府岬町民が文化財ウォーキングを楽しむなど、両町の特色を活かした交流や、スポーツ団体による相互交流等も行うことで、地域活性化にもつながることが期待されます。

## 施策の方向性

地域の特性を活かした運動・スポーツの普及  
年間を通じた健康スポーツの推進

## 主な取組み

年間を通じた「卓球・レクリエーション卓球」の普及

年間を通して町民のだれもが気軽に卓球のボール、卓球台を利用した競技やレクリエーション等に触れ合う機会を提供します。

年間を通じた「スポーツやレクリエーション活動」の普及

インクルーシブな健康スポーツなどの先進事例等を収集し、その情報発信、指導者の育成に努めるとともに、町内におけるスポーツ活動が充実するよう体制を整備します。

「健康ウォーキング」の普及啓発

自然豊かな環境を活用し、健康寿命を延ばすための健康ウォーキングを推進します。

友好都市である大阪府岬町とのスポーツ交流

両町の自然豊かな環境を活用し、特性を活かしたスポーツを通じて交流を深めます。

## **基本施策（3）的確な運動・スポーツ情報の提供**

運動・スポーツに親しむ機会となる情報について、町民のライフステージに応じて、適切な方法で提供していきます。

また、庁内関係部局や地域等と連携し、スポーツに関わってこなかった人に対しても、運動・スポーツの魅力を伝えていきます。

### **現状と課題**

本町では、スポーツイベントや施設の情報を「ホームページ」や「広報みさき」「みさきテレビ」など、様々な情報ツールを活用し提供しています。

町民を対象としたアンケート調査で、町内のスポーツイベント情報の入手方法について、年代に関わらず大半が「広報みさき」から入手しており、「広報みさき」が広く町民に親しまれた情報ツールとなっていて、その他、友人や知人からの情報やホームページ、みさきテレビなども情報入手経路は多様に要望されていることが分かります。

一方で、今まで運動・スポーツに関わってこなかった町民に対しては、既存の情報ツールでは、効果が小さいことも考えられます。

今後は、地域のスポーツ情報が、町民に分かりやすく簡単に入手できるよう、年代のニーズに合わせた情報ツールを見直すことで、興味・関心が持てる情報を検討するとともに、地域と連携した情報ツールを研究し、さらに町民の運動・スポーツ活動を推進していくことが求められます。そして町民に必要な情報が的確に届くよう、「する」「みる」「ささえる」の観点で、ホームページをより分かりやすく充実させていくなど、新たな発信をしていく必要があります。

## 施策の方向性

町民のニーズを踏まえた効果的な情報発信  
町民のニーズにあった運動・スポーツに関する情報発信

## 主な取組み

情報発信方法の充実

地域のスポーツ情報が、町民に分かりやすく簡単に入手できるよう、年代のニーズに合わせた情報ツールを見直します。また、「みさきテレビ」や「広報みさき」によるスポーツ版など新たな発信方法を検討します。

HP等による優秀選手・団体のPR(再掲)

表敬訪問に訪れた選手や団体をHP等で広くPRし競技者の意欲を向上させ、町民の競技スポーツへの理解を深めます。

スポーツにおける安全確保の情報発信(再掲)

安心・安全に運動・スポーツを行うために、自己の健康管理や感染症・熱中症などの注意喚起を、様々な情報ツールで発信します。

町内企業等へ情報発信

町内の企業で働く方へのスポーツ情報の発信を行います。

## 基本目標 3 生涯スポーツ活動の推進体制の再構築

### 基本施策（1）連携・協働によるスポーツ活動の推進

町民のライフステージに応じた生涯スポーツ活動の推進のため、町民、スポーツ関係団体、スポーツ推進委員、学校、民間事業者、学識経験者との連携を強化し、横断的な推進体制の構築を目指します。

また、スポーツ推進計画を着実に推進するため、スポーツ推進審議会（仮称）において、計画に対する評価を適切に行います。

#### 現状と課題

本町のスポーツ行政は、スポーツ推進委員やスポーツ協会、総合型スポーツクラブや地域の実情に応じたスポーツ推進団体などとの連携・協働で実施してきましたが、そのほとんどがスポーツに関係する団体等との連携によるものでした。

町民のライフステージに応じた運動・スポーツ活動を生涯にわたって計画的に推進していくためには、スポーツ推進団体等との連携に加え、保健・福祉、学校、町内会（自治会）、社会福祉協議会等、地域で活躍する団体・企業（民間事業者）や大学（学識経験者）等と連携・協働が重要です。

また、中学校の部活動において、国が働き方の観点で様々な施策を導入する新たな動きが見られます。本町もこの流れを真摯に受け止め、部活動指導の地域委託等の検討が課題となります。

今後は、町民のだれもが生涯にわたって、それぞれの体力、技能、興味、目的に応じて、健康的に運動・スポーツに親しむことの出来る環境を計画的に推進する体制を整備していく必要があります。

## 施策の方向性

横断的な生涯スポーツ推進体制の構築

## 主な取組み

保健・福祉部署等との連携強化

保健・福祉部署等との連携・協働により、町民それぞれのライフステージや健康状態に応じた運動・スポーツの習慣化を図ります。また、町民の健康増進の意欲増加を目的に「みさき健康ポイント制度」による推進を行います。

学校との連携強化

学校と地域、関係団体との連携により、児童・生徒の体づくりや体力向上のほか、運動部活動の指導支援を図ります。

団体間の連携強化

eスポーツなどのマインドスポーツをはじめ、運動・スポーツに関して様々な形で参加できるまちを目指して、スポーツ推進団体や文化団体、町内会等との情報共有し連携・協働の強化を図ります。

社会福祉協議会との連携強化

高齢化の進む地域社会の健康維持を図るため、ふれあいサロンや通いの場等の地域福祉活動の支援、障がい者スポーツの実施等の障害のある方の余暇活動の支援、福祉教育の推進等、多様な福祉ニーズに対応するため、幅広く事業を展開している社会福祉協議会と情報共有し連携・協働の強化を図ります。

大学や企業との連携強化

人材育成やスポーツを取り巻く様々なニーズに対応するため、大学や企業等との連携強化を図ります。

## **基本施策（２）運動・スポーツに関わる人材育成と団体等への支援**

スポーツは、「する」「みる」「ささえる」ことにより、すべての人が参画することができ、スポーツの楽しさや喜びを共有することができます。

町内の運動・スポーツを支える人材として、様々なニーズに応じた適切な指導を行う人材を育成するとともに、スポーツ関係団体等が地域に根差したスポーツ活動を継続して実施できるよう支援をします。

### **現状と課題**

本町では、地域におけるスポーツの推進者としてスポーツ推進委員が活動しています。スポーツ推進委員は、スポーツの実技指導やスポーツイベントの協力、また、スポーツコーディネーターとしても期待されています。

本町の競技スポーツ団体としては、美咲町スポーツ協会があり、競技団体が定期的に活動していますが、近年では、競技スポーツ人口が減少し、各競技団体の活動が縮小され組織の衰退化が懸念され、運動・スポーツを推進し組織を活性化していくためには、指導者の数を増やすとともに、一人ひとりの資質を向上させる取り組みが必要となっています。

今後は、美咲町スポーツ協会や各競技団体と連携し指導者の育成に取り組むほか、地域のスポーツ推進団体とも連携しレクリエーションスポーツや障がい者スポーツなど、だれもが楽しめるスポーツを普及させるための指導者を育成していくことが求められます。そして各種団体が自主的かつ継続的に活動し活性化した活動につながるよう支援していく必要があります。

## 施策の方向性

スポーツに関わる人材確保と育成  
地域スポーツ関係団体への支援

## 主な取組み

スポーツに関わる人材確保  
と研修会等の充実

町のスポーツ活動を促進するため、スポーツ指導者やコーディネーターとして活躍できる人材を確保するとともに、研修会等の充実を図ります。

スポーツ協会への支援

町のスポーツ振興を支えるスポーツ協会等を支援することで、スポーツ事業の充実のほか、競技力向上や指導者の育成を図ります。

スポーツ少年団への支援

活動を通じて喜びや楽しさを体験し、仲間との連帯や友情、協調性や創造性などを育み、社会のルールや思いやりのこころを学ぶことができるよう支援を行います。

総合型地域スポーツクラブ  
への支援(再掲)

だれもが身近な地域で多種多様なスポーツに親しめるように、総合型地域スポーツクラブの支援を行います。

地域の特色を生かしたスポーツ  
推進団体への支援

スポーツを行うことが困難な人に配慮しつつ、子どもから高齢者まで、町内の幅広い世代が気軽にスポーツに親しむことができるよう支援を行います。

スポーツ指導者等の育成と  
キャリアアップ

町民のスポーツに関する要望の多様化に対応できるような知識や技能を有する人材を育成するため、各種研修会や講習会などの充実を図ります。

# 第4章

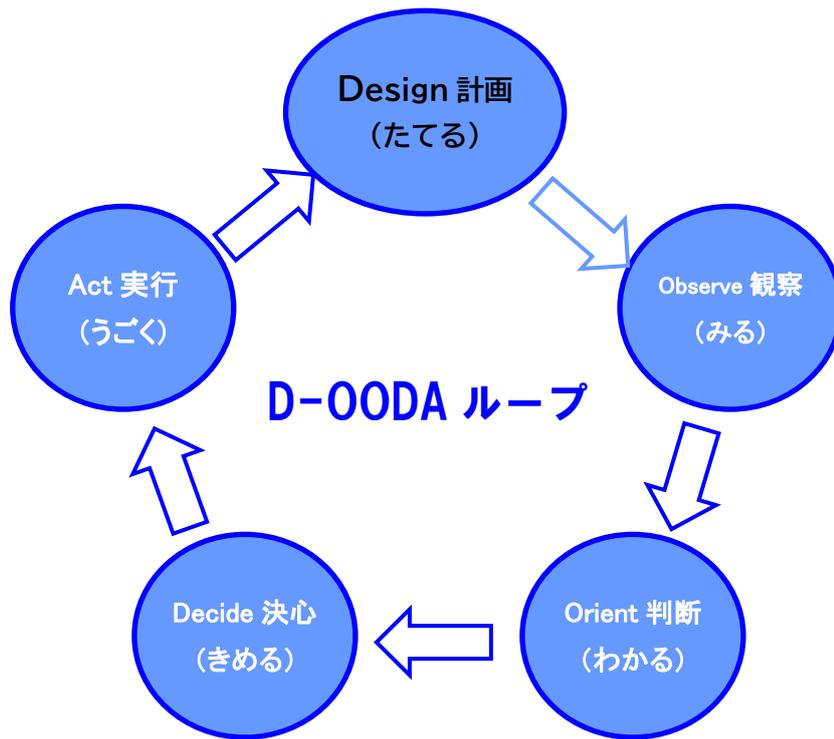
—計画の推進にあたって—

# 1 計画の推進と進行管理

## (1) 計画の推進と進行管理

計画の推進にあたっては、急激に変わる社会経済情勢の中では、計画の修正に時間がかかり、変化のスピードについていけないため、目標達成が困難な状況となっており、「美咲町生涯学習推進計画」に準じ、目標の達成に向け、D-OODA（ドゥーダ）ループにより、進行管理を行っていきます。D-OODAは、対話によって大筋の計画（Design）を立て、その後臨機応変に、観察（Observe）、情勢判断・方向づけ（Orient）、決心（Decide）、実行（Act）するというループを素早く回していくものです。

本計画が、地域課題や住民ニーズに沿った実効性のある計画として常に機能し続けるよう、実行した結果は、対話によって振り返り、次の計画に生かしていきます。そして、本計画は社会経済情勢の変化に対応できるよう、改定の必要があると判断した際は、いつでも柔軟に見直しするものとします。



		令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
推進計画	基本理念	→			
	推進方針	柔軟に見直し →			

別表 ○目標指標

取組を「見える化」し、目指す方向を共有するため、実施するにあたって4年間の指標目標を設定します。

主な取組	関連部署	指標	H30年度	R4年度	R6年度
体力向上の推進	○教育総務課	全国体力・運動能力運動習慣等調査指数（県平均ポイントとの比較）	小学校 △1.0 中学校 +2.0	小学校 ±0 中学校 +2.0	小学校 +1.0 中学校 +3.0
三世代交流事業	○生涯学習課	中学生へのアンケートで肯定的回答の率	-	75	85
美咲町スポーツ少年団活動の推進	○生涯学習課	美咲町スポーツ少年団団員数	185	160	160
みさきっこ体育教室	○生涯学習課	参加人数	59	60	60
町内外住民のスポーツ交流の推進	○生涯学習課 地域みらい課	美咲チャレンジロードレース大会参加者数	409	400	400
多世代参加型イベントの開催	○生涯学習課	多世代交流スポーツイベント（回）	0	1	2
高齢者や障がい者のスポーツ交流の推進	○生涯学習課	ペタンクふれあい交流会参加者数	46	50	50
スポーツ交流事業	○生涯学習課 地域みらい課	スポーツ交流事業参加者数	1,000	1,500	2,000
エイコスタジアム野球交流イベント	○生涯学習課 地域みらい課	野球交流イベント（回）	1	3	5
卓球交流大会	○生涯学習課 地域みらい課	卓球交流大会参加者数	-	500	1,000
スポーツ合宿誘致	○生涯学習課 地域みらい課	スポーツ合宿受入人数	-	100	200
グラウンドゴルフ交流大会	○生涯学習課 保険年金課	グラウンドゴルフ交流大会参加者数	10,000	11,000	12,000
体育施設の統合と除却	○生涯学習課 理財課 地域みらい課 旭支所住民福祉課 柵原支所住民福祉課	除却数（累計）	0	1	2
大阪府岬町と友好交流都市縁組	○地域みらい課 総務課 生涯学習課	大阪府岬町との交流分野数（累計）	-	3	5
コロナ体操の普及	○保険年金課 健康推進課	健康教室での指導（人）	142	180	200
生涯スポーツの推進	○生涯学習課 健康推進課 地域みらい課	スポーツ少年団の団体数	7	6	6
		総合型スポーツクラブ数	2	2	2
		スポーツ活動団体数（スポーツ協会）	20	20	20
		町主催の大会参加者が自主的に活動を行うスポーツ団体数	0	2	5
ふれあいサロン	○保険年金課 社会福祉協議会	ふれあいサロン開催回数	1,411	1,420	1,420

## 2 各主体の役割

効果的な計画の推進に向けて、各主体がそれぞれの役割を果たしていくことが求められています。

### ❖ 町民

生涯にわたり、一人ひとりが気軽に運動・スポーツに親しみ、明るく豊かなスポーツライフを構築していくことが求められます。

### ❖ 町（スポーツ行政）

計画の推進主体の中核として、本計画の目指すべき将来像の実現に向け、町民の運動・スポーツ活動の支援やスポーツ環境の整備を行っていきます。

また、庁内関係部局とも運動・スポーツを視点とした連携を強化し、スポーツ事業の推進を図ります。

### ❖ スポーツ推進委員

町のスポーツ振興の推進者として、町や学校、地域団体等が実施する事業への協力や、地域住民のニーズに合わせたスポーツの普及、実技指導、また、町民・スポーツ団体のニーズの把握など、調整役・コーディネーターとしての役割が求められています。

### ❖ スポーツ協会

町のスポーツ推進のビジョンを共有し、町のスポーツ事業の担い手として、町民のさらなる運動・スポーツの推進を図る必要があります。

また、スポーツに関する情報提供や自主事業・イベントの実施など、町民のニーズに合ったスポーツ事業を展開していくことが求められています。

### ❖ スポーツ少年団

子どもたちが、スポーツを楽しむだけでなく、学習活動、野外活動、レクリエーション活動、社会活動、文化活動などを通じて協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりのこころを学ぶ場であり、良き社会人として成長できるような活動を展開することが期待されています。

### ❖ 総合型地域スポーツクラブ

多世代で多様な種目のスポーツを楽しめる活動機会の提供、スポーツ体験会やイベントの開催を通して、町民のスポーツ活動の拡充が求められています。また、学校や地域との連携において中心的な役割になることが期待されます。

❖ 学校・保育園

就学前の子どもの外遊びや、児童・生徒の日常的な運動・スポーツの機会を提供し、子どもの体力・運動能力の向上を図るとともに、生涯を通じて運動・スポーツに親しむきっかけを作り出す役割が求められています。

❖ 町内会・自治会

町内各地の特徴を踏まえ、地域の住民が気軽に参加できるイベント等の開催が求められます。また、運動・スポーツを通じた地域のコミュニケーションが図られることで、地域の活性化につながることも期待されます。

❖ 社会福祉協議会（NPO法人、民間事業者及び団体を含む）

町民の多様なニーズを捉え、日常的に運動・スポーツに親しむことのできる場や機会を提供することが期待されます。また、専門的なノウハウを活かし、行政との連携で事業の担い手としての役割も求められています。

# 資料編

1 美咲町生涯スポーツ推進計画策定委員名簿

	区 分	氏 名	所 属
1	学識経験者	高岡 敦史	岡山大学大学院教育学研究科准教授
2	スポーツ団体関係者	壺内 邦雄	美咲町スポーツ協会会長
3		黒木慎一郎	美咲町スポーツ推進委員会委員長
4		大嶋 悠	美咲町スポーツ少年団副団長
5		梶尾 洋子	総合型地域スポーツクラブ (NPO 法人美咲町柵原星の里スポレク倶楽部)
6		片山 寿	総合型地域スポーツクラブ (夢咲クラブ)
7		教育関係者	有元 満治
8	野崎 久子		美咲町保育園園長会会長
9	町内関係団体	神田 益穂	美咲町社会教育委員会委員長
10		石井千栄子	美咲町知的障がい者相談員
11		山本 清人	美咲町青少年育成活動連絡会会長
12		大森 雅文	美咲町PTA連合会会長
13		小林 奈緒	美咲町社会福祉協議会
14		飯田 純子	美咲町統括的な地域学校協働活動推進員
15	有識者	上原 明恵	文部科学省認定(財)日本スポーツ協会 上級スポーツ指導者
16		塚崎 好起	津山教育事務所生涯学習課課長

## 2 美咲町生涯スポーツ推進計画策定 経過

時 期	内 容
令和3年 8月17日（火）	令和3年度第5回美咲町教育委員会定例会 ・美咲町生涯スポーツ推進計画策定委員会設置要綱について
令和3年 8月18日（水）	第1回美咲町生涯スポーツ推進計画策定委員会 【議事】 （1）美咲町生涯スポーツ推進計画の策定の経緯について （2）美咲町生涯スポーツ推進計画の策定スケジュール（案）について （3）美咲町生涯スポーツ推進計画構成（案）について
令和3年 10月6日（水）	第2回美咲町生涯スポーツ推進計画策定委員会 【議事】 （1）第1章 計画策定の経緯（案） （2）第2章 運動・スポーツに関する現状と課題（案） （3）第3章 スポーツ推進の施策（案） （4）第4章 計画の推進にあたって－（案） （5）資料 生涯学習関係施設一覧
令和3年 11月24日（水）	第3回美咲町生涯スポーツ推進計画策定委員会 【議事】 （1）美咲町民の運動・スポーツに関するアンケートの内容について （2）第3章 スポーツ推進の施策（案）について
令和3年 12月13日（月）	美咲町民の運動・スポーツに関するアンケート調査 実施 令和3年12月13日（月）～令和4年1月14日（金）
令和4年 1月26日（水）	第4回美咲町生涯スポーツ推進計画策定委員会 【議事】 （1）第2章 運動・スポーツに関する現状と課題（案）について 美咲町民の運動・スポーツに関するアンケートの集計結果について （2）第3章 スポーツ推進の施策（案）について
令和4年 2月9日（水）	第5回美咲町生涯スポーツ推進計画策定委員会 【議事】 （1）第2章 運動・スポーツに関する現状と課題（案）について （2）第3章 スポーツ推進の施策（案）について
令和4年 2月21日（月）	答申
令和4年 2月25日（金）	令和3年度第11回美咲町教育委員会定例会 ・美咲町生涯スポーツ推進計画 策定報告

## 美咲町生涯スポーツ推進計画策定委員会設置要綱

### (目的及び設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第10条の規定に基づき美咲町生涯スポーツ推進計画(以下「生涯スポーツ推進計画」という。)を策定するため、美咲町生涯スポーツ推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

### (所掌事務)

第2条 委員会は、生涯スポーツ推進計画の策定に係る次に掲げる事項について、調査及び検討を行う。

- (1) 生涯スポーツ推進計画策定に関すること
- (2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

### (組織)

第3条 委員会は、委員16人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) スポーツ団体関係者
- (3) 学校教育関係者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、委員に委嘱された日から計画の策定の日までとし、欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

### (委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員総数の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要に応じ、委員以外の者を会議に出席させ意見を聴くことができ又は資料の提出を求めることができる。
- 5 最初に招集される委員会は、第1項の規定に関わらず教育長が招集する。

### (庶務)

第7条 委員会の庶務は、生涯学習課において行う。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。